田子町勢要覧 2014

田子町民憲章

わたくしたちは、熊原の清流とみどりこき奥羽の山なみにいだかれた田子の町民です。

わがふるさとは、ふるく平安の世に開けた南部藩ゆかりの歴史ある、人情ゆたかなところです。

わたくしたちは、この郷土をこよなく愛し、誇りと自信を持ってさらに住みよく夢多い町をつくるために、町民憲章をさだめます。

一、みどり豊かな
　美しい町にしましょう
一、教育と文化を高め　希望に
　あふれる町にしましょう
一、健康と安全に心がけ
　住みよい町にしましょう
一、すすんではたらき　みんなが
　しあわせな町にしましょう
一、きまりを守り　心をあわせて
　いきいきとした町にしましょう

C O N T E N T S

● 町長あいさつ…… 3
● 国際交流…… 5
● 協働のまちづくり…… 7
● 情報発信…… 9
● 中高一貫教育……10
● にんにく日本一……11
● 基幹産業……13
● 健康福祉……15
● 豊かな田子の明日を生み出す人たち……17
● 田子伝統芸能・県の無形民俗文化財……22
● 田子情景アトランダム……23
● 観光マップ……25
● 議会の構成……27
● 資料編……28
● 町の概要……41

町長あいさつ

山本　晴美

我が町は、緑豊かな山々を源流とし、湧き出る清水の一筋が清流となり、イワナやカジカを泳がせながら、豊穣の土地から黄金色の稲穂を育て、にんにくなどの誇れる作物を産するなど、恵み多き大自然とともに生きる町です。

満天の星空、みろくの滝や大黒森周辺の創遊村、山つつじの群生地、季節には漁火がかすかに見えるという大パノラマは、私たちに大自然の懐の深さを教えてくれます。

そして、新田地区の唐臼（からうす）水車を大切に保存し、その唐臼で挽いたそば粉でお客様をもてなし、美しい日本の原風景を守り続ける取り組みは、大自然との融和と共存を今なお大切に守り続けるものです。このように私たちの町は、大自然の一部であることが実感できる町なのです。

一方、自然の恵みに創意工夫しての活動も盛んに行われています。

産業では、地理を活かし、黒毛和牛をはじめとする畜産業が盛んで、耕畜連携（資源循環型農業）に早くから取り組み、土づくりを大切にしてきたこだわり農家による、にんにく、枝豆、きゅうり、トマト、葉たばこなどが中央市場や取引関係者から高い評価をいただいており、畜産品の開発による商品のラインナップも充実し始めています。

また、町の面積の8割が森林であることから、林業も盛んであり、地元の林産材を活用した田子の匠の技も町内外で信頼され認められています。

さらに、にんにくが縁で交流が始まったアメリカギルロイ市、韓国瑞山市、イタリアモンテチェリ町との国際交流は平成初期から始められ、ギルロイ市との交流では中学生、高校生の語学研修、ギルロイ市高校生の短期研修の受け入れ、あるいはフェスティバルの相互訪問を通じての相互理解と友情の深まりは他に類を見ないものです。

他方では、地域文化や地域芸能の継承活動も盛んで、田子神楽保存会の指導により、未就学児童から高校生までの子どもたちに神楽講座を開設しており、一般向けには、田子神楽保存会、ナニャドヤラ保存会が伝統の保護継承・育成に取り組んでいます。田子高校郷土芸能部の活躍はこれら諸活動の象徴と言えるでしょう。

農村にあって、都市部と同様の情報を入手し、発信し諸活動に利用できること、また、地域のコミュニケーションを円滑にして緊急時の情報をはじめ地域情報を共有できることはとても大事なことです。我が町ではケーブルテレビジョンのシステムや光ケーブル等送信網の整備により、光通信や大容量通信、緊急告知放送網の構築が実施され、便利で活動的な町民生活が可能となっています。

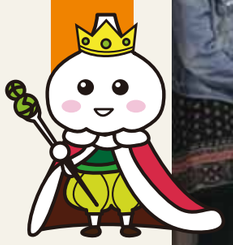
多くの方々に田子町を知っていただき、訪れていただいて、田子町の四季折々の景色、香り、味わい、音色、感触を大いに楽しんでいただきたいと思います。

そして人と人との絆をさらに強く確かなものにし、地域の力を向上させ、心と体の健康を増進させて、明るく朗らかで、仲良く支え合い、喜んで働き、活力のある人々のまちを目指し、我が町の誇れる様々な財産を再認識し活用して、生きがいとやりがい、物心ともに豊かさを実感できるまちづくりを押し進めていきたいと考えております。皆様のご来町を心からお待ちしています。

世界中を友だちに、国際交流の盛んなまち。

田子町・ギルロイ市姉妹都市提携25周年記念式典

瑞山市での姉妹都市締結記念式典



ホストファミリーと対面

ギルロイガーリックフェスティバル

姉妹都市提携記念碑除幕

【田子町の国際交流事業】

町では、海外の都市との姉妹都市交流を軸に、町民の国際人としての意識の確立と、国際化に対応する人材育成を推進するため、様々な事業を展開しています。

日本は島国であり、田子町はその中にある小さな田舎町です。しかし、世界には沢山の国が存在し、日本とは異なる言語・生活・習慣・文化を持つ人々が数多く暮らしています。そして、その“違いを知る”ことは、同じ地球人として仲良く暮らしていくためにとても重要です。

このため、異なる文化を持つ人々との出会いの場を町民へ（特に、未来を担う子どもたちへ）多く提供することで、国際意識・国際感覚を養うための手助けになればと考えています。

一層の親睦を願って、鏡開き

【姉妹都市との交流】

田子町は、町民の国際感覚の涵養と国際理解活動を推進し、世界に開かれた田子町の実現をめざして、アメリカ合衆国のギルロイ市、大韓民国の瑞山市、イタリアのモンティチェリ・ドンジーナ町と姉妹都市提携をしています。

【田子町の姉妹都市】

◎アメリカ合衆国カリフォルニア州ギルロイ市
Gilroy, California, U.S.A.
（1988 年4月18日姉妹都市提携）

◎大韓民国忠清南道瑞山市
Seosan-si, Chungcheongnam-do, Korea
（1990 年から友好交流、2012 年６月２２日姉妹都市提携）

◎イタリアエミリア・ロマーニャ州ピアツェンツァ郡モンティチェリ・ドンジーナ町
Monticelli d’ Ongina, Piacenza, Emilia Romagna, Italy
（1992 年9月11日姉妹都市提携）

進めるまちづくり、町民と行政が一体となって。

花植え

町民一斉クリーンアップ作戦

協働のまちづくり

まちづくり町民会議

【協働のまちづくり】

「まちづくりの主役は町民である」という考え方のもと、町民と行政が協力し合いながら、みんなの手でまちづくりを進めるための基本ルールとして、「田子町協働のまちづくり条例」が平成２２年４月1日から施行されました。

この条例は、まちづくりの基本的な考え方を定め、町民、事業者、行政及び議会の役割と町政運営のあり方を明らかにするとともに、協働の推進に必要なことなどが定められています。

【推進体制】

「協働のまちづくり条例」により、町民と行政が一体となって推進するため、町民で組織する「町民会議」、行政の庁内推進体制として町長をはじめとする「庁内推進会議」、具体的な調査検討を行う「庁内検討委員会」を組織し、参画と協働の推進に取り組んでいます。

自主防災訓練

夜回り

【地域担当職員制度】

町職員を地域担当職員として各自治会などに配置し、自治会の皆さんとコミュニケーションを図ることで、自治会と行政のパイプ役となり、地域が抱える問題を解決するため様々な情報を提供するなど、自治会活動を支援しています。

【活動支援】

それぞれの地域が持つ個性や環境、伝統などを活かした魅力ある地域づくりを進めるために町民が行うまちづくり活動について補助金を交付し、その活動を支援しています。

世代間交流

情報発信

タプコピアンプラザホール

当町では平成６年にケーブルテレビ放送施設を整備し、情報格差の是正やテレビ難視聴対策を通じて地域の活性化を進めてきました。

また地上テレビ放送のデジタル化に伴い、都市部との情報環境の格差を縮めるために、それまでの同軸ケーブルを光ファイバーケーブルに張り替え、情報基盤の整備を進めてきました。

情報通信を活用することで、地域コミュニティの活性化をはじめ、福祉・教育・防災・地域振興など住民サービスに寄与、住民の生活を便利にすることはもちろん、次世代を担う子どもたちが生き生きと健やかに暮らせるまちづくりができるものと確信しています。

ＴＶもネットも自由自在、全地域に光ファイバーを整備。

タプコピアンプラザ

TCV取材の様子

さらに、全世帯を対象として、防災告知端末を設置し、町民が安全で安心な暮らしのできるよう整備しています。これらの対策による成果をいっそう高めるため、当町ではほぼ全戸に設置整備を実施しています。

TCVスタジオ

防災告知端末

中高一貫教育

小中高合同音楽祭

当町では、学校教育においては、変化する社会に対応し、これからの時代に適応できる能力の基礎を培うことが重要と認識しています。そこで当町では、「確かな学力の向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」といった知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をより一層育むことを目指しています。

特に、学力の向上を図るため、小・中・高それぞれの連携事業の推進と、三戸地方教育研究所等の研究・研修事業の活用を図っています。

また、平成１３年度から連携型中高一貫教育を導入しており、中・高校が接続してゆとりを持った６年間の教育を理念としており、計画的・継続的な教育指導により効果的な一貫教育が可能となります。

高まる学びへの意欲を様々なカタチで強力に支援。

県外予備校での講習

中高合同体育祭

中高それぞれの教員が、乗り入れ授業やカウンセリング指導を行って効果を上げています。また、合同での体育祭開催で中高生の一層の相互理解が図られています。

町としては、中高一貫教育の充実のため、田子高校生の進学率及び学力向上のため、県外での予備校講習への補助や町外からの通学者への通学費補助を継続して実施しております。

中高合同芸術鑑賞会

田子高校郷土芸能部

これからも日本一を守り続けるために。

秋のにんにく植付

初夏の収穫風景

たっこにんにくまつり

たっこにんにく

「青森県田子産のにんにく」は、日本を代表する最高品質のにんにくです。

これは、地域の風土、いつの時代も関わる人々のたゆまない努力と「日本一」の旗印を掲げ続けようという心の底から沸き起こる信念の発露によるもの。そのために私たちは「高品質」を追求し続け、真に誇れる産地形成に取り組んできました。

「たっこにんにく」は青森県田子町できちんと管理栽培されたものを指します。このブランドは平成18年10月27日に特許庁より認可された東北初の地域団体商標です。「たっこにんにく」は地域ブランドとして、その知名度を活かし、さらなる安定生産と販売力の強化を進めてきました。

試験展示圃

しかし、生産農家では多くの課題を抱え、農家所得向上に向けた取り組みが急務となってきました。このため、その現状を洗い出し、JA、生産農家他町内関係者と協議を進めながら、生産・加工・販売対策など、その効果的な支援対策に取り組んでいます。

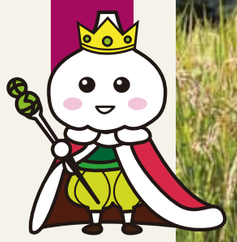
また、優良種子の安定供給に向けた、たっこにんにくオリジナル品種の育種事業については、町内での生育状況の調査と、増殖事業を進めるとともに、併せて、オリジナル品種の生育状況等関係団体へ情報提供しながら、田子独自の増殖・供給体制づくりを進めています。

青空教室

まちの発展を支える底力、たくましく豊かな自然の恵み。

広大な放牧地で草を食む田子牛

豊富な森林資源



湧き出る清水で育つ稲穂

当町の農産物、特ににんにくをはじめ、トマト、きゅうり、枝豆などは、その品質基準の高い中央市場においても絶大な信頼を得ています。

町の全般的な産業振興対策については、基幹産業である農林畜産業や豊かな観光資源を活用した商工観光などの個別的な施策を図りながら、各々の施策に連動性を持たせることにより、その効果を最大限に引き出し特色ある産業振興を進めています。

葉たばこについては、平成24年度、農家による薬剤散布や土づくり等の取り組みの結果、収穫量においては前年を上回る成績を残しています。平成25年度においても、田子葉たばこ耕作振興会との連携を図り、基本的な土づくりへの取り組みや立枯病の防除対策を支援し、生産意欲の向上と安定販売の確保を推進しています。

６次産業化研修会

市場評価の高い田子産トマト

畜産振興対策については、田子町における肥育牛、いわゆる「田子牛」の増頭対策として、従来の肥育素牛導入事業の他、地域内保留増頭の支援事業を新たに設け肥育牛の増頭に取り組みやすい環境づくりを支援しています。

林業振興については、木材価格の低迷する中ですが、森林の持つ多面的な機能を高めるため、適切な下刈りや間伐等の作業を実施するとともに、これらの理解を深めることを目的に、地域住民やみどりの少年団との協働により、植樹祭や研修会等を実施しています。

収穫前の葉たばこ

明るく、健やかに。笑顔で暮らす日々のために。

敬老会

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会（平成25年8月17日）

健康福祉

乳児健診

当町では、健康な地域づくりをめざし、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活が送られるよう、身近な地域で誰もが気軽に参加でき、日常的に継続できる健康づくり活動に取り組み、町民一人ひとりの健康に対する意識の向上に努めています。

子ども医療費助成事業については、子育て支援と町内の医療機関の利用促進を図ることを目的として実施。その事業内容は、中学生以下の児童生徒が田子町内の６医療機関を受診した場合に限り、医療費を無料とするものです。

赤ちゃんふれあい体験

田子保育園の子どもたち

また、少子化対策の一環として子育てに対する保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもを生み育てやすい環境づくりを推進することを目的とする保育料基準額の３分の１助成事業を実施しています。

学童保育事業については、かねてからの要望を受け、田子小学校向かいという利便性の高い立地に専用施設「すくすく館」を平成２６年１月に建設し、翌２月から利用開始しました。

運営については平日のほか、保護者のニーズに応じて、土曜日や長期休業期間も実施しています。

学童保育

豊かな田子の明日を生み出す人たち。

中畑　文利（なかはた　ふみとし）
（漆掻（うるしか）き用具鍛冶師）

1995年　国の選定保存技術保持者に認定
2000年　文化財保護法50周年記念大会において文部大臣表彰受賞
2013年　春の叙勲において旭日双光章を受章

「伝統の技術を次代の人材に引きついで」

父親も鍛冶屋で、叙勲を受章しています。私は高校生のころからこの道に入りました。家が鍛冶屋ということでこの仕事に就くのは自然な成り行きでしたね。

以来、ずっと漆掻（うるしか）きの道具を作ってきましたが、時代の移り変わりとともに、特殊な道具を作ることも少なくなりました。

また、20年以上も前に購入したものがとても使いやすくて、もう一度それを研いでくれと言われると、とても嬉しくなります。道具は使いにくさなどを我慢して使い続けるのではなく、手に馴染む道具こそが使う人たちの能率をあげさせるものになるのだということを心に念じて作業に取り組んでいます。

いろいろな形やさまざまなケースの下で数多くの道具を作っていると、ああ、ここはこうすればいいんだなというのが判明してくるものです。つまり常々「仕事」から「仕事」を聞いて道具づくりに励んでいるのです。

いまは全国的に道具を作る鍛冶屋がどんどん少なくなってきているので、職人が育ちにくい環境になっています。幸いなことにうちには現在、熱心に取り組む弟子が1人おり、その育成にも力を入れています。

これからも伝統の技術が絶えることのないよう、地道にこつこつと仕事に励んで参ります。

市村　大（いちむら　ひろし）
（にんにく農家）

「ふくらむ将来への夢は、会社組織で農業に取り組むこと」

農家に生まれ育ち、長男ということもあって自然とこの仕事に就いていました。サラリーマンのように「休み」ということはない状態ですが、品質の良い農作物が収穫できると嬉しくて疲れも吹き飛びますね。

近隣の直売所に卸すのは、味がいいもの、品質のいいものなど、味プラス量でのアプローチになります。

現在は産地から遠くにいても、簡単にスマホなどのモバイルで買い物ができる時代です。若い人たちは、それらをすでに生活道具の一つとして普通に駆使していますし、年配の方々も当たり前のように使用しています。そのような情報環境をも意識し、販路拡大のための対策を講じる必要があるものと認識しています。品質面で田子でのAランクは、他の産地では「特A」に相当するレベルです。そのことに大いに自信を持って、販売戦略を立てることが重要となってきます。

今はまだ小規模ですが、将来は「会社」としてしっかりした組織の下で経営できるようになりたいと願っています。その場合、農作物そのものの販売だけではなく、例えば介護などの分野ともコラボして、多角的な展開を実践することが夢ですね。

そのためには若き後継者の育成など取り組むべき課題も多いのですが、みんなで力を合わせて、なんとかクリアしていきたいと思っています。

種子　宏典（たねこ　ひろのり）
（にんにく農家）

「高品質にんにくの普及に一層のPR努力を」

「にんにく」は栽培がとても難しい農作物の一つです。たとえば肥料を与えるにしても、量を多く入れすぎるとうまく育ってくれません。土づくりから始めて、一年がかりで世話をし、そうしてやっと収穫にこぎ着けるのですから一つひとつの作業は手抜きなしに行う必要があります。

私は大学では法律を専攻していました。その方面に進みたくて一生懸命勉強しました。そのうち、農業に関することに出会い、これからは農業にいろいろなチャンスがある！と感じ、方向転換、現在に至っています。

田子のにんにくは、名実ともに日本一です。しかし県内における他の産地でもいいにんにくを収穫できるようになるために大変な努力をしています。田子産はブランドだからとその上にあぐらをかいていると、そう遠くないいつの日か、トップの座を明け渡すことになるでしょう。せっかくみんなの努力で確立した日本一です。そうならないよう、栽培面でのいっそうの研究や努力はもちろん、PRに関してももう一歩踏み込んで優れた点を積極的にアピールし、強力に差別化を図っていく必要があるものと痛切に考えます。

私自身は、チャンスがあれば日本全国どこへでも出かけ、田子のこの高品質のにんにくの普及に人生を賭けたいと思っています。いつでも声をかけてください。

小島（こじま）　丈治（たけはる）
（町商工会青年部長）

「異業種との交流もはかり　町の活性化に貢献したい」

商工会青年部は、いわばやがて企業のトップとなり、リーダーシップを発揮することが求められるようになる予備軍的な人材の集まりです。

当部では、月例会ということで毎月交流会を実施しています。会員のみんなと話していると、自分の会社に魅力を見出せないのか、そのことをあまり認識していない人が多いように感じます。そのため、研修や交流を通じて将来の展望を語れるよう意識改革を図るようにしています。

また、当部は定年が４０歳ということもあり、年々メンバーが減少気味にあります。悩みと言えば、そのため新しい事業にチャレンジしたくても、１人何役も担当しなければならないなど、人員的な課題に直面することもたびたびで、なんとかそれを解決したいものと妙案を模索中です。

そんな環境の中、毎年恒例になっている人気事業の一つ、「ちびっこ広場」はかろうじて維持できていますが、実情はいろいろなところからのご協力に依存している部分が多いので、できればもっと自力で活動できるように頑張りたいものと思っています。

今後は商工会のみならず、異業種のいろいろな部会の青年部たちとも交流をはかって、みんなでこの田子町の活性化に貢献できるようになりたいと考えているところです。

これからは家業の仕事面でもさらに受注努力を続け、実績と信頼を築いていけるように頑張っていきます。

深沢（ふかさわ）　直幹（なおき）
（林業）

「健康に暮らそう田子町で、　日本中にオススメです」

以前は千葉県で有名家電会社関係のサラリーマンをしていました。上をめざして一生懸命に頑張っていたのですが、会社を取り囲む社会的な経済情勢がどんどん変わり、もうこれ以上、上を望むのは困難と判断したので5年ほど前に故郷へ帰ってきたのです。

林業は父が手掛けており、小さい頃から見て育ちましたのでこの道を選びました。アウトドアが好きなので自分の性格にむいていると思いますし、なによりもやればやった分、頑張れば頑張っただけ、それが結果として自分に跳ね返ってくることを実感できるのがいいですね。それがやりがいと言えばやりがいでもあります。

現在、林業を取り巻く経済環境も決して恵まれているとは言えません。だからといってただ手をこまねいているわけにはいきませんね。同業のみんなと手を取り合い、信頼関係を大切にして、６次産業などアイディアを出し合い、発展をめざしたいと願っています。

可能性が、ある意味、飽和状態とみなすことのできる都会に比べたら、地方のこの田子は、まだまだいろいろな可能性に満ちている町だと観ることができましょう。自然が豊か、空気がきれい、水がおいしい、あこがれの田舎暮らしが楽しめる、農の道を究めたい等々、時代の意識が常に変化しつつある今、健康に暮らしたいと願う人々にオススメの素晴らしい町だと確信しています。

宝田（たからだ）　賀充（よしみつ）、宝田（たからだ）　勝予（かちよ）
（にんにく加工）

「優秀な人材を育成して　豊かな暮らしの実現へ」

にんにくには体にいい栄養がいっぱい含まれている、という認識はすでに定着しています。当社ではそのにんにくを生の他、おいしくて食べやすい、いろいろな形に加工して販売しています。

最近は「黒にんにく」が大好評で、生産が追いつかない状況が続いています。それを一過性のブームで終わらせないため、私たちは生産工程の見直しをしたり、社外のチームと手を組んで対応するなどの工夫を続けています。

当社で扱う商品は、直接口にするものが多いものですから、品質や衛生面に問題があってはなりません。もちろん風味に関しても同様のことが言えます。そのため生産管理は特に厳しく実施しており、それを実施するための人手が欲しい状態でもあります。

町の中で若い人を採用し、教育しながら一人前にしたいのですが、何しろ若い人材が本当に少なくて常に悩みであり、課題となっているのが実情です。

これからも信頼のおける製品を販売し、田子のにんにくにかかわる人たちが、みんな豊かな暮らしができることを切に願っています。

山本（やまもと）　悦久（よしひさ）
（畜産農家）

「信頼に応え、ご満足いただけるよう　頑張っていきます」

我が家は自分が生まれたときから、牛のいる情景が普通だったので、畜産大学に進むのは自然な成り行きでした。

卒業後は、海外青年協力隊として家畜飼育の指導でパナマに２年ほど行ったことがあります。半年から１年ほどしてようやく現地の方々とコミュニケーションがとれるようになりましたが、教えるより教わることのほうが多くてとても勉強になりました。

米も畑もやっていますが、やっぱり牛が好きなんですね。正直言って、休みたいときもあります。けれど、牛は人間の言葉が話せませんから常に診ている必要があります。目や毛並みの状態、耳を下げていないか、鼻を垂らしていないか、早め早めに兆候をつかむよう健康状態に十分気をつけています。

田子では乳牛用のホルスタインにしろ、肉牛用の黒毛和牛にしろその頭数が少ないというのが現状です。

応援してくださるお客様がいらっしゃるので、日々丹誠を込めて肥育し、満足できる品質のものをお届けするよう努力を続けています。これからもぜひご愛顧いただければと願っています。

市橋（いちはし）　安代（やすよ）、佐藤（さとう）　恵子（けいこ）
（ガーリックセンター）

「国際感覚が身につけられる明るい田子町をめざして」

私たちが大学で英文学を専攻することになったのは、小さいときからこの田子町で英語に接する多くの機会に恵まれていたからだと言っても過言ではありません。それほど田子町は、外国語や外国の文化に自然と触れることのできる場をたくさん用意しているのではないでしょうか。

現在、私たちは国際交流活動分野を中心に、田子町でいろいろとお手伝いさせてもらっています。

昔に比べたら、今では外国に行くのはとても簡単になっています。しかし経済的に余裕がないと、それもなかなか難しいものがありますよね。ですからこの田子町に残ったままで、外国語をマスターしたり、外国の文化を吸収することができる環境を、自分たちの力で整えてあげられたらと、日々努力を重ねています。

いったん都会など町の外で暮らしてみると、初めてこの田子町のいろいろな素晴らしさに気がつくものなんですね。外国の方をはじめ、国内の方でも、町外からお見えになるお客様は、田子の豊かな自然環境にとても感動されます。そしてまたこの町に暮らす人々の心の温かさに触れ、感激されます。

安心して暮らせるこの環境をこれからも守っていき、四季をはっきりと感じることのできる田子町を誇りとし、国際交流面のみならず、幅広い分野で町の発展のお役に立ちたいと願っています。

木谷（きや）　真紀子（まきこ）
（田子神楽後継者）

「神の踊り、田子神楽の伝承に情熱を傾けて」

米国ギルロイ市での公演会に出演したのがきっかけで、田子神楽を指導することになりました。

それまで教えてくださっていたお師匠さんたちが、皆さんご高齢になっていて、これから新しく田子神楽を教えられる人が他にいなかったので、私に矛先が向かったというのが実際のところです。

私は、町外に就職した一時期を除き、小学一年のときから社会人になるまでずっと神楽にたずさわっています。そのため体が舞を覚えていたのです。

全部の舞をちゃんと覚えようとすると最低でも３年はかかります。舞の動きも昔ならそれはそれは厳しく仕込まれたものですが、時代が変わったこともあり、私が小さい子たちに教えるときは、それらをかみくだいて、今の子たちの感性で理解できるように指導しています。そしてまた、田子神楽は「神の踊り」だから、汚い気持ちで踊るとそれが踊りに出るんだよと教えています。

この伝統芸能は、小さいうちはみんな習ってくれるのですが、中学、高校と進学するにつれ、特に男子は離れていってしまう傾向があり、それが悩みのタネです。でも伝承が途中で消滅してしまわないよう、自分たちが一生懸命に指導することが大切なことだと思っています。

自分の子たちがそれをしっかり受け継ぎ、その次代の子たちを指導できるようになることをめざしています

県の無形民俗文化財 虫追い

命の綱とも呼ばれてきた種々の穀物。古い時代にあっては害虫による被害を防ぐ手だても限られており、その順調な生育は神に頼るしかなかったに違いない。丹誠込めて植えた米や麦などが虫に食い荒らされないようにと五穀豊穣を四方の神々に祈願する祭りである。ムシボイとも発音される。

田子の伝統芸能 なにゃどやら

ナニャドヤラ保存会

田子町を含む青森県南部から岩手県北部地方にかけて古くから伝わる盆踊りの一つ。星空に響き渡る男たちの太鼓の音、それに絡むかのように唄われる謎の歌。多くの研究者たちがその意味を解明しようと試みたが、未だに意味不明のまま歌い継がれている。

県の無形民俗文化財 田子神楽

約四百年前から山伏修験の人々によって伝承されてきた山伏神楽。南部藩第二十七代利直公の頃には田子城下の守護神楽であり、城主が盛岡城に移ってからも毎年旧暦正月十六日には田子神楽を招いて春祈祷をさせ、南部藩の御用神楽にしたと伝えられている。

なお、田子神楽は、県の無形民俗文化財に指定されており、国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財にも選択されている。

田子情景アトランダム

にんにくとべごまつり
にんにくとべごまつりの目玉商品、田子牛の丸焼きである。炭火の遠赤外線で、一晩かけて焼き上げる。絶品！

にんにくとべごまつり
田子牛やたっこにんにくのうまさを堪能するまつり。特産品も販売され、毎年、町内外から多くの人出で賑わう。

えっ、ここ、田子？
欧州の農村を連想させる情景だが、まちがいなく、夕陽を浴びて異国の光の趣を放つ我が田子のフィールドである。

すべての道は田子に続く
町民の頼れる足とも言うべきコミュニティバスが、田子のほぼ全域をカバーしている。

十和田湖噴火の形跡
むき出しの壁の所々に黒いものが混入している。大昔の噴火で火山灰に閉じ込められ炭になった当時の樹木である。

のんびり
野良仕事の合間の休みっこと称される小休憩タイム。近況報告などに欠かせないコミュニケーション時間でもある。

創遊村 229 スキーランド（花火大会）
冬の夜空を焦がすのは、支援者の好意で打ち上げられる大輪の花火。心温まるワンダフルな贈り物。

創遊村 229 スキーランドはナイタースキーも営業
八戸市からクルマで1時間ほどの近さ。スキーもスノボも安全に楽しめるゲレンデが自慢。駐車場完備。

雪の創遊村
北国の風情たっぷりのシーン。深い雪に埋もれ、囲炉裏の火もありがたい異次元空間だ。

にんにく収穫祭
雪の季節を耐え抜いて実ったにんにく。その年に初めて収穫する掘りたての瑞々しいにんにくの旨さは天下一品。

四季、美しき田子
森の緑が少しずつ山に返した天の水。川底が見えるほど透き通ったせせらぎは子どもの格好の遊び場でもある。

Hello!
田子の子どもたちは、国際交流が盛んな環境のもとで明るく素直に育っている。

大黒森からのパノラマ
意外と勾配があるが、麓からゆっくり歩いて登れば家族連れでもミニ登山が楽しめる丘である。

スカイスポーツの穴場的スポット
大黒森でつつじまつりが開催されると、スカイスポーツの愛好者たちはパラグライダーでの空中散歩を満喫する。

みろくの滝親水公園
おいしくてきれいな水が豊富な田子町。その恩恵を堪能すべく親水公園が整備されている。駐車場あり。

大黒森の展望台
初夏の訪れとともに約5万本の山ツツジが一斉に咲き始める大黒森。頂上の展望台からは太平洋が見えることも。

昆虫はトモダチ！
夏はカブトムシやクワガタなどが家の明かりにつられて出てくる田子の自然。バッタもこんなにデカい！

いのちの水
清らかな水が湧き出て、渇水することのない田子の豊かな水環境。町民は昔から生活用水として利用してきた。

ぐるっとたっこ、ひとめぐり

十和田湖

103

454

迷ヶ平

秋田県鹿角市

中滝

ドコノ森

大黒森

白萩平

雷鉢森

朝日奈岳

みろくの滝

四角岳

田子町

104

至二戸市

岩手県二戸市

青森県三戸町

4

砥場ノ平キャンプ場

産直たっこや

山川旅館

ガーリックセンター

田子町役場

サンモールたっこ

JA田子町ストア

大雷鉢砂防愛ランド

関所の茶屋

新田そばまつり
水車小屋

大黒森つつじ群生
タプコプ創遊村
創遊村229スキーランド

大黒森

元旦には、初日の出を拝む人たちでいっぱいになる小高い丘である。初夏の頃、山頂付近には5万本と推察される数の山ツツジの群生が一斉に咲く。

ドコノ森

くねくねと曲がる山道をずんずん進むと、一部の斜面だけが禿げ山のようになったエリアに着く。その斜面は不思議な石がゴロゴロしている。石の表面には人為的につけられたような直線が刻まれている。何かの文字なのか、あるとき研究者たちによって調べられたが結局、不明なまである。

創遊村229スキーランド

初心者から上級者までが楽しめる安全性の高いファミリーゲレンデ。

タプコプ創遊村

およそ150年ほど前の農村を再現した原風景的な空間。配置されている家屋は、実際に最近まで使用されていた古民家を移築した本物の茅葺き屋根の家である。

蛇王の松

根本から三つ又になり、それがさらに分かれて五つの太幹となり、天に向かって大きく腕を広げるかのように伸びている。地元では山の神が宿る神様の木として崇敬され大切に守られている。アカマツとしては全国でもトップクラスの大きさ。

みろくの滝

うっそうと茂った森の中を進むと、突如、目の前に滝が出現する。その迫力、その神々しさ、初めての方はきっと驚いて息を飲んでしまうはずだ。

みろくの滝親水公園（紅葉の秋）

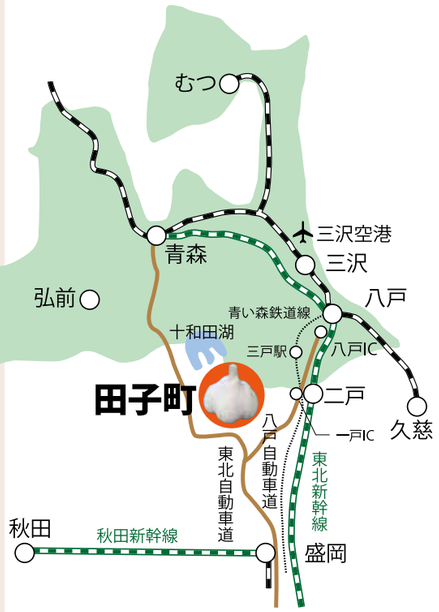
みろくの滝に向かう駐車場の周りは、四季折々の色彩も美しい親水公園となっている。

新田そばまつり

春先に植えた、地元種100%のソバを使用して開催される、民間主導のイベント。粉に挽くのは50年以上も昔から活躍し、今も現役で頑張っている水車で、地元ではカラウスと呼ばれている。

ガーリックセンター

世界中のにんにくに関する情報や商品を集積させた施設。たっこにんにくを使用してのおいしい料理を提供するレストランもある。



交通アクセス

●鉄道ご利用

東北新幹線JR八戸駅から
青い森鉄道三戸駅まで15分
（東京〜八戸間約3時間）

東北新幹線JR二戸駅から
青い森鉄道三戸駅まで15分

●バスご利用

青い森鉄道三戸駅よりバスで30分（町中心）

●自動車ご利用

八戸自動車道一戸ICより40分
東北自動車道十和田ICより1時間

●飛行機ご利用

三沢空港より車で1時間30分

資料編

議会の構成

- 議　会
  - 議会運営（広報）委員会
  - 常任委員会
    - 総務・文教常任委員会
    - 産業・民生常任委員会
  - 特別委員会
    - 予算特別委員会
    - 決算特別委員会
    - 田子町水道事業に関する調査特別委員会
  - その他の委員会等
    - 議会活性化検討委員会
    - 町に係わる財団法人のあり方・運営を考える会
    - 議員全員協議会

議長　澤口　勝

副議長　砂子田　康雄

議員　蹴揚　清人

議員　日沢　一雄

議員　椛本　義見

議員　千葉　健一郎

議員　宇藤　大介

議員　尾形　憲男

議員　宮村　尚哉

議員　沢口　博二

田子町の統計

町制施行：明治23年（田子村と上郷村が誕生）

町制施行：昭和3年11月10日

合　　併：昭和30年3月1日（現在の田子町となる）

東　経：141° 09’21”

北　緯：40° 20’14”

東　北：19,6km

南　北：17,0km

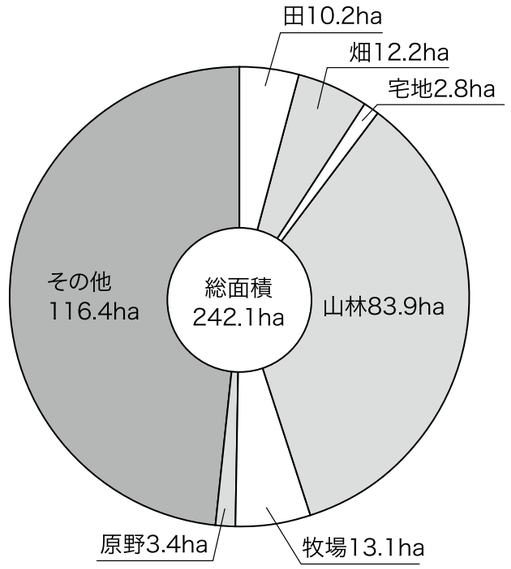
町内最高峰：1,003m（四角岳山頂）

町の花：山つつじ

町の木：ななかまど

町の鳥：キセキレイ

土地利用状況



資料：税務課（固定資産税概要調書）

■人口の推移

イ.国勢調査上

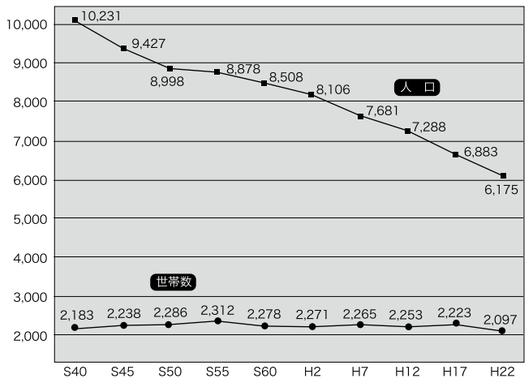
資料：国勢調査

年次	世帯数	人口			世帯増減率	人口増減率	1世帯平均人員	人口密度（1㎢あたり）	増加指数 S40年=100
		総数	男	女					
昭和40年	2,183	10,231	4,801	5,430	5.4	△7.8	4.7	42.26	100
45	2,238	9,427	4,308	5,119	2.5	△7.9	4.2	38.94	92
50	2,286	8,998	4,170	4,828	2.1	△4.6	3.9	37.17	88
55	2,312	8,878	4,152	4,726	1.1	△1.3	3.8	36.67	87
60	2,278	8,508	4,034	4,474	△1.5	△4.2	3.7	35.14	83
平成２年	2,271	8,106	3,842	4,264	△0.3	△4.7	3.6	33.48	79
7	2,265	7,681	3,657	4,024	△0.3	△5.2	3.4	31.73	75
12	2,253	7,288	3,466	3,822	△0.5	△5.1	3.2	30.10	71
17	2,223	6,883	3,269	3,614	△1.3	△5.6	3.1	28.43	67
22	2,097	6,175	2,905	3,270	△5.7	△10.3	2.9	25.51	60

ロ.住民基本台帳上（3月末現在）

資料：住民課

年次	世帯数	人口		
		男	女	計
平成12年	2,337	3,801	4,000	7,801
13	2,339	3,772	3,943	7,715
14	2,368	3,724	3,924	7,648
15	2,367	3,681	3,880	7,561
16	2,354	3,636	3,817	7,453
17	2,350	3,572	3,781	7,353
18	2,330	3,493	3,727	7,220
19	2,318	3,425	3,631	7,056
20	2,299	3,337	3,551	6,888
21	2,280	3,266	3,492	6,758
22	2,264	3,194	3,431	6,625
23	2,239	3,099	3,369	6,468
24	2,244	3,062	3,319	6,381



■人口動態

年次	自然動態			社会動態			年間増減	その他	
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減		増	減
平成12年	58	75	△17	199	247	△48	△65		
13	50	71	△21	184	249	△65	△86		
14	45	88	△43	192	216	△24	△67		
15	47	77	△30	160	217	△57	△87		
16	41	96	△55	161	214	△53	△108		
17	35	93	△58	119	161	△42	△100		
18	46	82	△36	115	208	△93	△129	0	4
19	38	99	△61	109	210	△101	△162	0	2
20	34	110	△76	90	197	△107	△183	15	0
21	27	95	△68	107	172	△65	△133	3	0
22	30	105	△75	110	170	△60	△135	2	0
23	27	120	△93	95	162	△67	△160	4	1
24	25	94	△69	107	150	△43	△112	29	4

■住民記録　人口世帯集計表

集計基準日：平成25年3月31日　　転出予定者：転出届出日で転出者とする　　平成25年4月1日

行政区	世帯数				男			女			計		
	日本人	外国人	複数	計	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計
下田子	55	0	0	55	87	0	87	86	0	86	173	0	173
舞　手	22	0	0	22	27	0	27	28	0	28	55	0	55
向　山	19	0	2	21	37	0	37	53	2	55	90	2	92
衣　更	28	0	0	28	44	0	44	43	0	43	87	0	87
七日市	191	1	0	192	234	1	235	244	0	244	478	1	479
矢田郎	125	0	0	125	162	0	162	153	0	153	315	0	315
野　月	120	0	2	122	111	0	111	124	2	126	235	2	237
種　子	18	0	0	18	25	0	25	33	0	33	58	0	58
野々上	79	0	0	79	117	0	117	123	0	123	240	0	240
池　振	29	0	1	30	44	0	44	44	1	45	88	1	89
野畦沢	2	0	0	2	2	0	2	1	0	1	3	0	3
川　向	22	0	0	22	42	0	42	44	0	44	86	0	86
川　代	21	0	0	21	29	0	29	28	0	28	57	0	57
椛　山	6	0	0	6	4	0	4	7	0	7	11	0	11
袖　平	19	0	0	19	39	0	39	40	0	40	79	0	79
清水頭	43	0	0	43	83	0	83	82	0	82	165	0	165
干草場	28	0	0	28	53	0	53	54	0	54	107	0	107
長　坂	33	0	0	33	44	0	44	52	0	52	96	0	96
西舘野	178	0	2	180	223	0	223	230	2	232	453	2	455
上　野	41	0	0	41	55	0	55	67	0	67	122	0	122
宮　野	15	0	0	15	22	0	22	25	0	25	47	0	47
細　野	22	0	0	22	42	0	42	41	0	41	83	0	83
明土平	15	0	0	15	19	0	19	22	0	22	41	0	41
上相米	21	0	0	21	38	0	38	48	0	48	86	0	86
根　渡	25	0	0	25	44	0	44	46	0	46	90	0	90
柴　倉	7	0	0	7	16	0	16	14	0	14	30	0	30
上風張	51	0	1	52	56	0	56	64	1	65	120	1	121
風　張	27	0	0	27	21	0	21	32	0	32	53	0	53
南風張	27	0	0	27	28	0	28	38	0	38	66	0	66
北　側	69	0	0	69	70	0	70	79	0	79	149	0	149
南　側	37	1	0	38	38	0	38	47	1	48	85	1	86
中本町	48	0	0	48	53	0	53	85	0	85	138	0	138
下本町	107	0	0	107	132	0	132	151	0	151	283	0	283
塚ノ上ミ	14	0	1	15	22	0	22	26	1	27	48	1	49
サンモール	68	1	1	70	99	0	99	103	2	105	202	2	204
雀ヶ平	29	0	0	29	48	0	48	50	0	50	98	0	98
野　面	25	0	0	25	46	0	46	44	0	44	90	0	90
极ノ実	14	0	0	14	24	0	24	25	0	25	49	0	49
飯　豊	60	0	0	60	95	0	95	90	0	90	185	0	185
原	38	0	1	39	67	0	67	63	1	64	130	1	131
道　地	47	0	0	47	69	0	69	72	0	72	141	0	141
石　亀	32	0	0	33	45	0	45	47	1	48	92	1	93
杉　本	32	9	0	41	41	0	41	48	9	57	89	9	98
茂　市	41	0	0	41	74	0	74	72	0	72	146	0	146
道　前	47	0	0	47	67	0	67	66	0	66	133	0	133
嘉　沢	18	0	0	18	25	0	25	31	0	31	56	0	56
山　口	22	0	0	22	43	0	43	37	0	37	80	0	80
関　下	27	0	0	27	32	0	32	41	0	41	73	0	73
関　上	30	0	0	30	38	0	38	53	0	53	91	0	91
夏　坂	27	0	0	27	39	0	39	46	0	46	85	0	85
遠　瀬	50	0	0	50	75	0	75	78	0	78	153	0	153
水　亦	10	0	0	10	14	0	14	17	0	17	31	0	31
新　田	36	0	0	36	52	0	52	57	0	57	109	0	109
合　計	2,217	12	12	2,241	3,056	1	3,057	3,294	23	3,317	6,350	24	6,374

産　業

■生産額の推移（純生産額）

（単位：百万円）

項目	H21	構成比	H22	構成比	対前年度増加率
第一次産業	2,923	21.5	3,235	20.3	10.7
1.農業	2,817	19.5	3,123	19.6	10.9
2.林業	106	2.7	112	0.7	5.7
3.水産業	0	0.0	0	0.0	―
第二次産業	3,927	20.9	1,930	12.1	△50.9
4.鉱業	79	0.6	45	0.3	△43.0
5.製造業	2,255	12.5	1,020	6.4	△54.8
6.建設業	1,593	8.5	865	5.4	△45.7
第三次産業	10,875	57.6	10,765	67.6	△1.0
7.電気・ガス水道業	361	1.9	344	2.2	△4.7
8.卸売・小売業	1,137	5.8	1,133	7.1	△0.4
9.金融・保険業	173	1.8	162	1.0	△6.4
10.不動産業	1,683	9.4	1,691	10.6	0.5
11.運輸業	1,952	9.5	1,848	11.6	△5.3
12.情報通信業	97		97	0.6	0.0
13.サービス業	2,048	11.3	2,047	12.9	0.0
14.政府・サービス生産者	3,240	18.6	3,245	20.4	0.2
15.対家計民間非営利サービス生産者	185	1.5	198	1.2	7.0
計	17,724	103.6	15,930	100.2	△10.1

資料：市町村民経済計算

■町民一人あたりの所得の推移

（単位：百万円）

年度	町民所得	一人当たり町民所得	県平均との対比
H16	13,235	1,903	82.5
H17	12,842	1,866	84.3
H18	13,242	1,946	81.3
H19	13,128	1,981	82.7
H20	12,336	1,902	84.3
H21	12,358	1,961	85.8
H22	11,109	1,799	76.7

資料：市町村民経済計算

■農家の状況

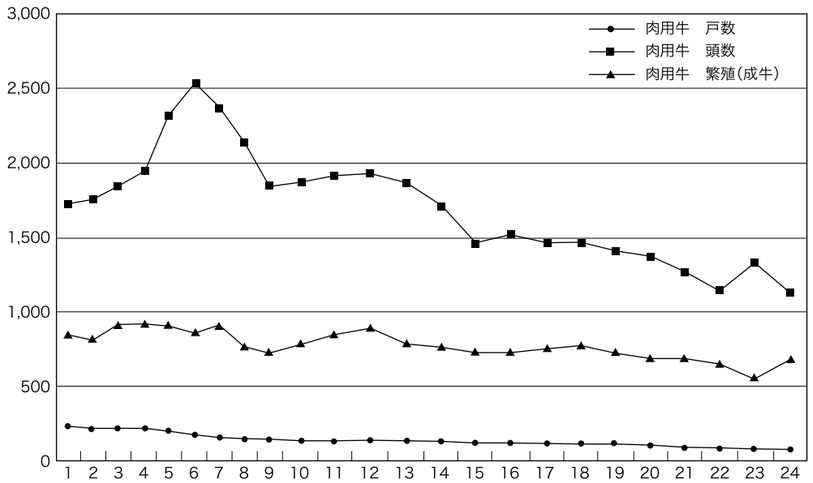
区分／年度	農家戸数（戸）				農家人口（人）			就業人口（人）			経営耕作面積（ha）			
	総数	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	総数	男	女	総数	男	女	総面積	田	畑	果樹園
昭和55年	1,136	243	398	495	5,580	2,710	2,870				1,709.6	958.0	591.9	159.7
昭和60年	1,080	209	419	452	5,156	2,533	2,623				1,723.0	962.0	648.0	113.0
平成 2年	1,022	161	325	536	4,437	2,184	2,253				1,639.3	944.0	610.4	84.9
平成 7年	964	162	326	476	4,386	2,151	2,235				1,597.7	866.9	675.5	55.3
平成12年	894	160	258	476	3,997	1,960	2,037	1,613	675		1,515.2	843.4	622.7	49.1
平成17年	872	170	241	461	2,269	1,169	1,100	1,504	680	824	2,240.2	793.3	1,412.1	34.8
平成22年	798	250	148	400	2,026	1,046	980	1,263	607	656	2,362.3	757.9	1,563.3	41.1

資料：農林業センサス

■家畜頭羽数推移

資料：産業振興課（家畜頭羽数調査）

年度	肉用牛			乳用牛		豚		ブロイラー		採卵鶏		馬	
	戸数	頭数	繁殖（成牛）	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数（羽）	戸数	羽数（羽）	戸数	頭数
元	228	1,725	838	14	308	15	2,674	9	491,000	1	38,000		
2	222	1,779	807	14	322	16	2,824	9	469,000	1	42,000		
3	218	1,849	916	13	366	13	2,463	9	458,000	1	42,000		
4	209	1,952	934	12	351	8	1,895	10	713,000	1	40,000		
5	200	2,341	908	11	380	7	1,601	10	796,000	1	40,000		
6	180	2,509	880	11	366	6	1,510	10	799,000	1	40,000		
7	168	2,390	912	11	384	6	1,495	10	787,000	1	40,000		
8	153	2,136	771	11	358	5	1,228	10	700,000	1	40,000		
9	144	1,850	732	11	327	5	1,236	10	753,000	1	40,000		
10	139	1,890	792	11	353	5	1,993	10	774,000	1	36,000		
11	137	1,961	856	10	330	5	1,913	10	794,000	1	36,000		
12	133	1,976	900	10	277	5	2,329	11	917,000	1	30,000		
13	129	1,888	794	8	243	5	2,349	12	1,038,000	1	50,000		
14	124	1,709	780	8	233	5	1,953	12	1,036,000	1	25,000		
15	117	1,471	710	7	226	4	1,789	12	1,049,000	1	20,000		
16	113	1,546	715	7	214	3	1,405	12	1,280,000	1	15,000		
17	113	1,431	747	7	214	3	1,412	12	1,266,000	1	13,000		
18	103	1,465	770	7	214	4	1,762	12	1,078,000	1	14,000	4	12
19	103	1,403	711	7	195	4	1,755	12	1,353,300	1	15,000	4	11
20	100	1,329	690	7	195	4	2,257	14	1,230,490	1	15,000	4	12
21	97	1,298	692	7	175	2	1,388	14	1,350,320	1	10,000	3	4
22	96	1,195	644	7	186	2	1,260	14	調査なし	1	調査なし	2	2
23	92	1,318	526	6	170	2	1,488	14	1,343,360	1	8,900	1	2
24	88	1,191	690	6	171	2	1,040	14	1,380,020	1	9,000	1	2



■製造業の推移

（単位：万円）

年度	事業所	従業者数	製造品出荷額
H18	14	351	652,839
H19	15	387	711,838
H20	14	420	912,837
H21	14	401	935,432
H22	12	397	922,509
H23	10	357	888,263

資料：工業統計調査（従業員4人以上の事業所）

■商業の推移

（単位：万円）

年度	商店数	従業者数	年間商品販売額
H3	140	445	639,991
H6	128	417	710,344
H9	118	378	711,748
H14	103	409	644,959
H16	93	341	524,555
H19	85	326	558,635

資料：商業統計調査

田子町の年譜

年	西暦	田子町の動き	備　考
		農林省食糧事務所出張所開庁　（青森県食糧検査所廃庁）	
23	1948	田子自治警察発足	1月20日
		農業会解散	
		農業協同組合発足	
		田子町長改選	7代町長　佐藤　健三郎(田子)
24	1949	上郷中学校発足(原、上郷、遠瀬、関の各小に併設の中学校を統合)	4月1日
		上郷中学校校舎建築工事着工	上郷中学校は2期に亘り施工
		関小学校校舎竣工	
25	1950	田子中学校校舎、田子町役場庁舎建築工事着工	田子中学校は3期に亘り施工
		伝貧馬多量に発生。約100頭処分	
26	1951	議会議員(4月23日)、農業委員会等の選挙執行	
		上郷村長選挙執行	上郷村長　小坂　義衛氏
		上郷中学校校舎竣工	
		清水頭小学校校舎建築工事着工	
		各種災害復旧工事実施	
		夏坂分教場竣工落成	
27	1952	田子町長選挙執行され(6月23日)、決選投票(7月3日)となる	田子町長　佐藤　健三郎氏
		三戸高校田子分校開校(定時制)	
		上郷村長更替される(8月10日)	訴訟の結果、斉藤　利吉氏当選就任(15代町長)
28	1953	公営住宅建設	塚ノ上ミに1種木造10戸、2種木造5戸、茂市に2種木造5戸建設
29	1954	町村合併推進特別委員会設置	田子町、上郷村の合併を申請
		田子～福岡間に国鉄バス運行開始	1日3往復
		各種災害復旧工事実施	大坊、野面頭首工外
		公営住宅建設工事	西舘野10戸、野々上15戸建設
		原小学校へき地集会室建築工事完成	講堂
		相米小学校校舎建築工事完成	移転新築
		田子町自治警察廃止される	7月
30	1955	田子町と上郷村合併し田子町となる	3月1日
		八戸～大湯間、国鉄、南部バス運行開始	
		各種災害復旧工事実施	飯豊、山口、関頭首工外
		公営住宅建設	西舘野1種木造15戸、茂市2種木造5戸
		町長選挙執行	宇藤　政司氏当選(3月31日)
		簡易水道工事着手	水源地、青比良地内の湧水利用
		農業振興5ヶ年計画樹立	雑穀作付を主体とした農業を改め、水稲、りんご、畜産を基幹とする農業経営に
31	1956	農業共済組合合併	
		新町初の議員選挙執行(2月15日)	新議員26名誕生
		田子町消防団統合	本団、6ヶ分団編成
		三戸信用田子支店開店	
32	1957	田子地区簡易水道工事完成	台所改善進む
		自主財政再建実施	合併時の赤字1,300万円を解消するため
		上郷小学校、関小学校にへき地集会室建設	
		宇藤町長死去、町長選挙執行	村木　正氏当選(11月30日)
		和平開拓道路、国営工事として着工	
33	1958	本町市街地の一部舗装工事着工	
		上郷地区簡易水道工事着工	2ヶ年継続事業
		三戸高等学校田子分校独立校舎完成(定時制)	7月30日
		広報「たっこ」第1号発刊	
34	1959	町営牧野設置	乗上地区2ha借上
		国民健康保険事業全町実施	
35	1960	役場事務機構合理化図る	事務効率の向上と町民へのサービス向上
		田子町商工会設立	
		町議会議員、農業委員選挙執行	
		田子町国民健康保険病院開院	木造2階建994㎡、20床
		最初の国勢調査実施	世帯数2,071戸、人口11,097人
		消防自動車購入	第6分団に配置
36	1961	水赤分校創立	木造平屋建139㎡、2教室
		公営住宅建設	矢田郎地区に木造2種20戸建設
		災害復旧工事ほぼ完了	大畠橋、茂市橋、比良根橋外
		宮野橋永久橋として架替	
		町立病院二期工事完成	木造2階建471㎡、7室20床
37	1962	田子分校昼間定時制となる	4月1日
		村木町長死去、町長選挙執行	松橋　清四郎氏当選(4月15日)
		田子地区保育所完成	木造平屋建333㎡、90名収容可能
		上郷地区公民館完成	木造平屋建410㎡、和室、図書室、遊戯室
		田子中学校校庭拡張工事着手	自衛隊に委託、第1期工事3,520㎡
		熊原川防災ダム事業着工	工事費3億8千万円で、夏坂上流に築堤
		公営住宅建設	矢田郎地区に木造2種20戸建設
		消防自動車購入	
38	1963	町議会議員定数削減、選挙執行	経費の節減
		田子町中央公民館一部完成	和室、会議室、図書室、調理室等
		山口児童館完成	木造平屋建200㎡
		田子中学校校庭二期工事完成	自衛隊に委託3,625㎡
		上郷中学校新築工事着工(12月15日)	鉄骨モルタル造3年継続事業一期工事445㎡

年	西暦	田子町の動き	備　考
明治			
2	1869	三戸県は田子通大肝入の制を廃し、関通庄屋・田子通庄屋支配に改め、町にはこれまでのとおり田子町検断を置いた	
4	1871	大小区制に先立ち、斗南(となみ)県は、8月付で遠瀬村・中村四郎、田子・緒方豊七(改姓泉山)に戸長を申し付ける	
5	1872	青森県三戸支庁より遠瀬村・中村四郎、田子村・緒方豊七にそれぞれ関通・田子通の里正を申し付ける	
6	1873	大小区制により旧田子通16ヶ村は第8大区、第6小区となり戸長が置かれた	
7	1874	田子小学創立(田子小学校)	4月25日
9	1876	上郷小学創立(上郷小学校)	3月15日
		原小学校開校	9月10日工藤数馬氏宅
		清水頭小学校開校(田子小の分校)	11月
		9ヶ村に整理統合	明治9年の頃(田子、相米、原、石亀、茂市、関、遠瀬、夏坂、山口)
10	1877	田子郵便局開局	
11	1878	清水頭小学校独立	1月
		関小学校創立	
13	1880	遠瀬小学校創立	8月30日
15	1882	関郵便局開局、夏坂小学校開校(関小の分校)	
16	1883	相米小学校開校(田子小の分校)	
21	1888	田子村と上郷村に分離	田子村(田子、相米) 上郷村(原、石亀、茂市、関、遠瀬、夏坂、山口)
23	1890	田子村に青森大林区署三戸小林区署(三戸営林署)設置　5月	初代村長　尾形　及四郎(田子) 初代村長　倉沢　弥太郎(上郷)
26	1893	八戸区裁判所田子出張所開庁	2代村長　富田　善作(田子)
27	1894	相米小学校独立(6月24日相米尋常小学校)	3代村長　斉藤　嘉郎(田子)
29	1896		4代村長　大矢　正平(田子)
31	1898	田子大火(八坂神社等焼失)	
32	1899		2代村長　川村　善太郎(上郷)
35	1902	田子古館学校敷地及び伐林許可	旧田子小学校建築
36	1903		3代村長　平泉　亀蔵(上郷)
37	1904		4代村長　倉沢平治右衛門(上郷)
38	1905		5代村長　釜渕　政七(田子)
39	1906	石亀大火　　部落半数以上全焼	6代村長　富田　善作(田子)
43	1910		不老倉鉱山から三戸駅まで鉱石運搬で活気
			7代村長　根橋　伝吾(田子)
45	1912		5代村長　清水　長次郎(上郷)
大正			
2	1913	田子大火(本町焼失) 公立消防組発足	
3	1914		6代村長　乳井　清勝(上郷)
5	1916		7代村長　大久保　政経(上郷)
			8代村長　橋本　新蔵(田子)
8	1919		8代村長　久慈　確郎(上郷)
			9代村長　大矢　総三(田子)
9	1920	三戸銀行田子支店開設	
10	1921	電灯がつく、トラックが入る	
11	1922	村会で官行造林を議決	
12	1923	産業組合創立(田子上郷)	9代村長　神　秀四郎(上郷)
14	1925	選挙人名簿不登載について異議申立続出	村税滞納により公民権を停止されていたもの
昭和			
2	1927		10代村長　宇都宮　直吉(田子)
3	1928	田子町町制施行	初代町長　桜井　栄太郎(田子)
		田子、十和田線県道編入請願	
5	1930	初めて自動車ポンプ購入(フォード)	2代町長　北村　雄二郎(田子)
6	1931	大凶作となり住民の口糊を凌ぐため土木事業等をおこす	十和田線改修、飯豊橋架替、中滝線改修等
		青森県農産物検査所出張所開庁	
		関郵便局を陸奥上郷郵便局と改称し石亀に移転	
7	1932	電話開通、ラジオが入る	3代町長　松尾　節三(田子)
10	1935	町営バス運行開始	バス4台で営業開始
		三戸、毛馬内間鉄道敷設期成同盟会結成	10代村長　穂積　倉蔵(上郷)
11	1936		4代町長　奥　正四郎(田子)
			11代村長　沢口　辰之助(上郷)
14	1939		5代町長　一ノ瀬　麟児(田子)
15	1940	町営バスにも木炭ガス発成器取付 自治制施行50周年記念式典	
16	1941	上郷小学校全焼(5月18日) 田子、上郷森林組合発足	12代村長　岩間　直衛(上郷)
17	1942	各種災害復旧工事実施 救農土木事業施行	昭15災、林ノ渡橋等復旧する 黒森山線等開設
19	1944	南部鉄道田子営業所開所 産業組合解散、農業会発足	
20	1945	航空機燃料とし、松根油を生産	13代村長　原田　義三(上郷)
22	1947	町村長、議会議員の選挙相次いで執行(4月5日)	6代町長　宇藤　政司(田子) 14代村長　小坂　義衛(上郷)
		6・3制により中学校開設	田子中学校は4月21日創設
		漕洞宗牛尾山耕田寺焼失	
		異常降雨出水により各所に被害出る	
		田子、上郷共済組合発足	

行政・議会

■歴代四役

1.町長

氏　　名	就任期間
宇藤　政司	S30.4.1　～　S32.10.20
村木　　正	S32.12.1　～　S37.3.11
松橋清四郎	S37.4.15　～　S45.4.14
宇藤堅太郎	S45.4.15　～　S57.4.14
渡部　剛己	S57.4.15　～　H10.4.14
中村　隆一	H10.4.15　～　H17.6.9
松橋　良則	H17.7.10　～　H23.12.12
山本　晴美	H24.1.15　～　現在

2.助役及び副町長

氏　　名	就任期間
中村　万吉	S30.7.6　～　S37.4.8
種市佐太郎	S37.8.10　～　S45.5.4
	S46.1.1　～　S53.12.31
佐藤　清治	S54.2.1　～　S62.1.31
原　　廣治	S62.2.2　～　H3.2.1
熊谷　實郎	H3.12.19　～　H10.4.10
北村　　護	H11.6.17　～　H15.6.16
簗田　尚久	H15.6.18　～　H19.6.17
原　　昌德	H25.4.1　～　現在

3.収入役

氏　　名	就任期間
飯豊　慶作	S32.4.1　～　S48.3.31
原　　春治	S48.10.17～　S52.10.16
佐藤　清治	S52.10.17～　S54.1.31
原　　廣治	S54.2.1　～　S62.1.31
千葉　四郎	S62.2.2　～　H3.2.1
熊谷　實郎	H3.3.16　～　H3.12.18
原　　廣治	H5.5.27　～　H9.5.26
市橋　孝士	H11.6.17　～　H15.6.16
相木　信弘	H15.6.18　～　H19.6.17

4.教育長

氏　　名	就任期間
一ノ渡志津子	S31.10.1　～　S32.6.30
関本　　実	S32.7.11　～　S45.9.30
古田　直一	S46.1.11　～　S52.3.31
関口　澄太	S52.4.4　～　S58.9.30
澤口　　豊	S58.10.11～　H6.8.31
袴田　　實	H6.10.21　～　H17.7.15
秋元　正孝	H17.12.16　～　H23.10.2
宇藤　裕夫	H24.4.3　～　現在

■歴代議長

氏　　名	就任期間
土川源太郎	S30.3.1　～　S31.2.29
佐藤福次郎	S31.3.5　～　S35.2.29
畠山先之助	S35.3.5　～　S39.2.29
澤口　勝助	S39.3.5　～　S43.2.29
佐藤　　勇	S43.3.1　～　S46.4.15
中村　隆一	S46.6.3　～　S48.5.16
奥　　長蔵	S48.5.16　～　S50.5.29
西野末次郎	S50.6.2　～　S58.5.29
穂積　與助	S58.5.30　～　S62.5.29
藤村　義雄	S62.6.3　～　H3.5.29
田村　文作	H3.6.5　～　H7.5.29
山市　　浩	H7.5.30　～　H15.5.6
澤口　　勝	H15.5.30　～　現在

■歴代副議長

氏　　名	就任期間
佐藤　章治	S30.3.1　～　S31.2.29
畠山先之助	S31.3.5　～　S35.2.29
松橋清四郎	S35.3.5　～　S37.4.8
瀬川　金蔵	S37.5.25　～　S39.2.29
藤田伝兵衛	S39.3.5　～　S46.4.15
山本孝一郎	S46.6.3　～　S50.5.29
風張　　繁	S50.6.2　～　S54.5.29
穂積　與助	S54.5.30　～　S58.5.29
種市佐太郎	S58.5.30　～　S62.5.29
山市　　浩	S62.6.3　～　H3.5.29
北村仁太郎	H3.6.5　～　H7.5.29
澤口　　勝	H7.5.30　～　H15.5.29
西村　金二	H15.5.30　～　H19.1.13
岩間徳太郎	H19.2.6　～　H19.5.29
小野寺　康	H19.5.30　～　H22.7.24
砂子田康雄	H22.8.9　～　H23.5.29
山本　晴美	H23.5.30　～　H23.12.23
砂子田康雄	H24.1.26　～　現在

教育

■幼・小・中・高等学校の概況

年度	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	数	園児数	数	児童数	数	生徒数	数	生徒数
H20	1	29	3	328	1	191	1	177
H21	1	29	3	313	1	190	1	173
H22	1	27	3	303	1	183	1	172
H23	1	26	3	275	1	188	1	149
H24	1	23	3	268	1	164	1	149

資料：学校基本調査

年	西暦	田子町の動き	備　考
		教育長就任	4月4日　関口　澄太氏就任
		第2次田子町総合開発計画(実施計画含) 樹立	6月　昭和46年基本構想を制定後、第2次樹立
		上郷小学校にプール完成	7月27日完成　7コース25m 総事業費　23,931千円
		雀ヶ平地区樹園地農道整備事業に着手(7月着手)	工事期間53～56年 事業費202,000千円、延長4,340m
		地域農政特別対策事業指定	52年度～54年度の3ヶ年事業(推進活動及び整備事業の2つの柱で)
		あすなろ国体、炬火リレー隊(東まわり) 当町を走る	9月26日　新郷村より引継ぎ、町内3区間をリレーランナー69人で三戸町へバトンタッチ
		消防団長就任	10月1日　山市幸悦氏就任
		収入役就任	10月17日　佐藤　清治氏就任
		消防ポンプ車購入(10月)	更新第1号として第6分団(関地区)に配置(5,800千円)
		除雪車購入	グレーダー1台　11,987千円
		下田子生活館完成	木造平屋建1棟204.17㎡ 事業費　13,335千円
53	1978	災害危険区域指定	建築基準法の指定「災害危険防止区域」と併せて指定。塚の上地区ほか5地区
		上郷地区保育所完成	1月10日　木造平屋建 1棟608.69㎡ 事業費45,347千円、定数90名
		上郷地区保育所、通所用マイクロバス購入	1台、27人乗り
		交通死亡事故ゼロ、1，000日達成	1月25日　50年2月5日から
		町の木、町の花、町の鳥選定委員会発足	2月1日　西野末次郎委員長 ほか14名
		田子町長選挙執行	3月19日執行　宇藤堅太郎氏当選(3期目)
		日ノ沢地区樹園地農道完成	47年度に着手した6ヶ年事業が完成 総延長　5,802m、事業費180,941千円
		県立田子高等学校として独立	4月1日
		第1回高齢者レクリェーション運動会開催	6月27日　町内13クラブが参加
		田子町上水道管網整備工事着手	53～54年度　事業費約287,000千円
		消防ポンプ車購入　第1分団へ配置	8月6日　更新第2号
54	1979	助役、収入役就任	2月1日　助役佐藤　清治氏、収入役　原　広治氏就任
		根渡地区担い手センター落成	
		町立病院に麻酔科医着任	麻酔科医、内科医長として小原正和氏就任
		町議会議員選挙執行	4月22日
		花木ダム、熊原川に「ヤマメ」3万匹放流	三戸漁業協同組合主催
		陸奥上郷郵便局の原徳造氏、郵政大臣賞受賞	4月20日
		森林総合整備事業開始	
		田子町健康づくり推進協議会発足	5月24日　会長原田正智氏
		県立田子高等学校校舎完成	7月1日　事業費800,000千円
		第1回知事と語るつどい	7月3日　中央公民館
		公民館結婚式、10組目のカップル誕生	
		三戸地方黒毛和種改良組合設立	7月24日　組合長に沢田啓氏
		乳牛の部で優等賞に2頭	7月20日　三戸畜産農業協同組合で行われた第21回三戸地方畜産品評会で足沢昭広氏(衣更)所有の乳牛2頭が見事優等賞を獲得した
		田子高原地区で県営草地開発事業スタート	田子高原広域事務組合、10億円投じ355haを58年度までに実施される
		町立田子病院完成	11月5日診療開始
		社会福祉協議会法人化なる	会長に中平　彦作氏
		上郷中学校創立30周年記念式典	11月25日
		田子小学校が学校造林優秀校に表彰	12月11日
55	1980	お年玉付年賀ハガキ1、2等当たる	
		転作目標面積は141ha	水田利用再編対策
		知事の事務を市町村に委譲	4月1日、敬老年金給付の決定ほか14項目
		田子上ノ平地区町営住宅15戸完成	第2種簡易耐火構造平屋建3棟 事業費100,920千円
		ミルクプラント完成(田子町農協)	
		田子中学校改築工事着工	
		原小学校、相米小学校閉校	田子小学校に統合　4月1日
		町の鳥に「キセキレイ」	5月21日
		技能五輪全国優勝	堀内　伸夫氏(戸田沢建築)
		冷害の被害総額22億円	明治38年以来75年ぶりの異常低温
		清水頭小子ども会全国表彰	連合子ども会全国表彰、建設大臣表彰
		田子上ノ平地区町営住宅15戸完成	11月 第2種簡易耐火構造平屋建3棟 事業費86,447千円
		救農事業スタート	約127,000千円を予算化
		田子町冷害克服総決起大会	11月24日
		嘉沢地区集落センター、雀ヶ平生活館、飯豊生活館完成	12月
		商工会創立20周年記念式典	12月5日
56	1981	田子小金管バンド、全国大会(東京)で二度目の優秀賞	1月18日　第18回マーチングバンド、バトントワリング全国大会
		文化講演会　直木賞受賞作家、三好京三氏	2月22日
		結核予防事業で全国特別表彰を受賞	4月2日
		故　足沢禎吉氏名誉町民となる	56年4月27日議決

年	西暦	田子町の動き	備　考
		第13回県畜産共産会田子町で開催	畜産田子の実力発揮(チャンピオン5頭)
		山村開発センター着工	着工9月14日　完成予定50年7月30日 鉄筋コンクリート一部2階1,115㎡ 事業費140,000千円
		田子小学校創立100周年記念式典開催	10月13日田子小学校
		迷ヶ平地区が自然休養林に指定	11月11日迷ヶ平で開設式
		夏坂地区へき地保健福祉館完成	完成12月19日 耐火構造平屋177.39㎡ 事業費10,880千円
		町道原衣更線改良工事着工	
		住民記録電子計算機で処理	八戸市委託
		教育長就任	12月25日　教育長　古田　直一氏就任
50	1975	助役就任	1月1日　助役　種市　佐太郎氏就任
		遠瀬生活館完成	1月30日完成　木造平屋建257㎡ 事業費6,969千円
		田子町商工会館完成	2月1日完成　木造2階建254㎡ 事業費19,000千円
		急傾斜地崩壊危険区域の指定	北側、中本町の一部、上風張の一部、道地の一部
		田子町選挙管理委員長選任	委員長に盛田稔氏2月28日就任
		県立三戸高等学校田子分校が全日制課程となる	4月1日　田子高校建設への布石
		田子町議会議員選挙執行	4月27日
		田子小学校が全国学校造林コンクールで特選校となる	5月25日　文部、農林両大臣賞受賞(滋賀県栗東町で)
		田子高原草地開発事業調査区域の指定を受ける	本州に1ヶ所
		田子高原草地開発事業期成同盟会発足	近隣6町村と三戸畜産農業協同組合など12団体
		渡部いそさん「勲六等宝冠章」受賞(春の叙勲で)	
		広域消防田子分署に救急車配置	
		農業委員選挙執行	7月15日　第1、第2地区とも無投票当選
		町の育英資金にと100万円寄贈	田子町トップクラブ(山田藤三郎会長＝会員22人)
		大黒森ミルキングセンター操業開始	耐火構造平屋200㎡ 事業費13,000千円
		合併20周年記念式典と開発センターの落成を祝う	8月1日　昭和30年3月1日旧田子町と旧上郷村が合併
		母子健康センター助産事業を休止	山村開発センター　鉄筋コンクリート造一部2階建1,115㎡ 事業費16,144千円
		町立病院に整形外科の診療開始	週2回の実施
		青森地方法務局田子出張所廃止	11月10日 三戸出張所に統合
		町の基準地価格決まる	
		ほ場整備事業(50～55年)	田子地区43.7ha 事業費263,000千円
		「たっこにんにく」が東京青果から品質、数量ともに日本一の評価を得て日本一の産地となる	石亀地区35.2ha 事業費239,600千円
51	1976	町営砕石事業廃止	民間経営に移行
		エノキ茸生産始まる	第2次林業構造改善事業による「エノキ茸生産施設」が1月末に完成
		町立病院15周年を迎える	2月5日
		第32回国民体育大会(あすなろ国体)田子町町民運動推進協議会(宇藤堅太郎町長が会長)発足、3つの基本目標をスローガンに運動を推進(会は53年中で解散)	第32回国民体育大会(あすなろ国体)田子町町民運動推進協議会(宇藤堅太郎町長が会長)発足、3つの基本目標をスローガンに運動を推進(会は53年中で解散)
		清水弘二氏「勲五等瑞宝章」を受章	5月15日
		救急車の寄贈を受ける	青森県農業共済組合連合会より
		幼稚園章制定	町出身の画家　宇藤　義一氏(東京在住)によるもの
		県立三戸高等学校田子分校にスクールバス寄贈	同校ＰＴＡ(北村仁太郎会長)から
		町民憲章制定委員会発足	7月24日　委員長に関口　澄太氏
		役場の新しい組織誕生	10月1日　住民サービスの重点と財政の健全化を図る
		原小学校創立100周年を迎える	9月10日
		清水頭小学校創立100周年を迎える	9月18日 「100周年記念館」を建設
		田子町冷害対策本部設置	9月13日　夏季の異常低温により農作物の被害額14億円を超える
		第18回青森県農業祭当町で開催	11月6～8日(3日間)当町にも青年農業士誕生
		上郷中学校水赤分校増築工事完成	11月完成　校舎増築(木造平屋建98㎡、普通教室2、教具室1、事業費5,076千円)
52	1977	町民憲章制定、公布	1月1日　記念式典挙行3月1日
		待望の葉たばこ取扱所完成	鉄骨平屋建881㎡ 総事業費97,000千円
		町民憲章制定記念式典挙行	3月1日　中央公民館
		県立三戸高等学校田子分校の定時制課程閉校	最後の卒業式、閉講式が3月31日全日制第1回卒業式と一緒に行われた
		町営住宅完成	第2種簡易耐火構造平屋建 2棟10戸　事業費41,595千円

年	西暦	田子町の動き	備　考
			55年度とする基本構想が9月20日議会において可決される
		第10回青森県畜産共進会で田子牛チャンピオンになる	9月30日東北町　吉田　金次郎氏の黒毛和種「もりさかえ号」が未経産の部でチャンピオンとなる
		学校交通安全大会開催	児童生徒一般の町民が参加して中央公民館で秋の交通安全運動の一環として行われる
		学校統合(上郷地区4校) 決まる	第4回田子町議会定例会(12月23日～24日)において上郷地区4校の統合議案可決される
		新田地区へき地保健福祉館完成	敷地1,183㎡ブロック平屋造 面積170㎡ 事業費　5,650千円
		除雪トラック購入	1台300万円
		町道、道地根渡線完成	幅員4m、延長3,450m
		町道田子根渡線工事着工	
		町営住宅10戸完成	西舘野　事業費9,800千円
		稲荷橋完成	幅員4m、延長7m 事業費3,400千円
47	1972	農業振興地域指定受ける	
		記録映画「田子神楽」完成	田子町神楽保存会が国・県・町から40万円の補助を受けて大長編3時間20分、14曲目8ミリ撮影
		新入生を事故から守る母の会結成	4月11日結成　会長　中野　光氏
		上郷小学校校舎新築工事着手	6月23日　穂積建設工業株式会社に落札
		黒星病発生	りんごの大敵黒星病が町内に発生
		田子局の電話がダイヤル式に切替	
		誘致企業東京電気産業(株) 操業開始	11月21日　田子工場操業開始
		文化協会発足	10月23日発足　会長　宇藤　堅太郎氏
		花木ダム完成	42年に着工され事業費637,432千円幅125m、高さ27m、水面の広さ7.5ha、有効貯水量44万㎥
		田子共同高等職業訓練校工事着手	11月3日着手　事業費13,500千円
		愚土橋完成	11月10日完成　事業費3,441千円
		相米地区へき地保健福祉館完成	12月26日落成式 耐火構造平屋200㎡ 事業費6,650千円
		牛の売り上げ7千7百万円	秋のセリ売上総額77,000千円になる　1頭あたり10万円台を突破
		赤ちゃんの死亡率初の「ゼロ」を記録	47年に一年間乳児死亡率ゼロを記録
		町道田子日ノ沢線改良工事完成	幅員5m、延長700m 事業費9,000千円
		町営住宅10戸完成	西舘野　事業費15,000千円
		第2期山村振興計画樹立地指定受ける	
		開発センター等建設用地を取得	面積8,556㎡、事業費46,467千円
		林業改造改善地区指定受ける	
		樹園地農道網整備事業着手	工事期間48～50年 事業費132,052千円 延長5,802m
		農免農道整備事業着手	工事期間48～50年 事業費100,070千円 延長1,894m
		田子共同高等職業訓練校完成	5月9日
		畠山先之助氏(新田)「勲六等単光旭日賞」受賞	11月
48	1973	渡辺武雄氏「勲五等瑞宝章」受賞(春の叙勲で)	
		りんご人工授粉奨励のため北村副知事来町	
		降ひょうによる被害発生	6月18日りんご、葉たばこに大きな被害がでる　被害面積76ha
		町立病院に李先生着任	6月30日韓国から李　秀教外科医着任
		国道104号線「白萩ライン」(八戸市～大館市) 完成	完成式典7月20日田子町で開催
		第1回田子町交通安全町民大会開催	8月1日中央公民館
		上水道工事着手	完成予定52年3月 事業費380,000千円
		第3回牛まつり開催	9月19日町営大黒森牧場で開催
		収入役就任	10月17日原　春治氏就任
		沢口勝助氏「勲五等瑞宝章」を受賞(秋の叙勲で)	
		青森トヨタ自動車株式会社、交通指導車を町へ寄贈	
		除雪ドーザー購入	1台6,120千円
		町営住宅10戸完成	西舘野　事業費15,000千円
		林業改造改善事業計画認可	期間48年～51年　事業費162,255千円
		温泉ボーリング完成	堀さく800m　事業費8,270千円
		葉たばこ売上3億5千万円突破	
		一般林道比良線開設事業着手	延長6,000m、事業費152,700千円
49	1974	上郷小学校新校舎落成	3月1日落成式 鉄筋コンクリート2階建2,584㎡、統合校舎
		田子町国民健康保険病院院長着任	原田　正智氏　3月5日着任
		国土調査事業完成	着手40年　完成式典3月12日行われる 総事業費97,000千円 総事業面積144㎢
		町長選挙執行	宇藤　堅太郎氏　4月15日就任
		老人福祉センター完成	4月23日落成式
		田子町土地開発公社設立	理事長　種市　佐太郎氏 町出資金　500万円

年	西暦	田子町の動き	備　考
		相米、遠瀬両小学校に給食室設置	木造平屋建60㎡、42㎡
		ゴミ焼却場完成	1日4ｔ焼却可能
		町営砕石場操業開始	年産7,000㎥
		国鉄バス十和田東線運行開始	
		農業構造改善事業着工	土地基盤整備、経営近代化施設、融資事業等
39	1964	山村振興林道事業着工	嘉沢から遠瀬に至るもの 延長1,700m
		田子町森林組合合併改組	田子、上郷、全上郷、3組合合併
		県営パイロット事業着手	
		田子小学校創設90年を祝う	
		上郷中学校二期工事完成	鉄骨モルタル造2階建663㎡
		公営住宅建設	矢田郎地区に木造2種16戸建設
		パスセンター建設完成	鉄骨コンクリート平屋建89.1㎡
		田子町スキー場開設	大福山、和平高原
		町営牧野造成事業実施	池振たて野30ha
40	1965	舞手橋永久橋として竣工	延長36m、幅員4m
		国土調査事業着手	
		清水頭児童館建設	木造平屋建2階217.18㎡、60人収容
		遠瀬橋永久橋に架替	延長34m、幅員4m
		公営住宅建設	野月に木造2種6戸、簡平11戸
		上郷中学校三期工事完成	屋内体育館551.64㎡
		三戸高等学校田子分校増築(定時制)	木造2階建延182㎡
		消防自動車購入	第4分団に配置
41	1966	町長選挙無投票(4月15日)	松橋　清四郎氏当選
		国土調査実施	衣更、野面方面8.75㎢
		原地区児童館建設	木造平屋建234.9㎡
		農業構造改善事業	昨年に続いて実施
		野面永久橋に架替	桁H型網コンクリートスラブ 延長44m
		給食センター建設	鉄骨造平屋建279㎡
		災害復旧事業実施	
42	1967	役場建設敷地購入	大字田子字天神堂平に1,617㎡
		国土調査事業実施	飯豊～遠瀬地区まで11.0㎢
		夏坂ダム完成	
		母子健康センター建設	木造平屋建299㎡、6床
		農業構造改善事業実施	昨年に引続いて実施
		第8回青森県畜産共産会当町で開催	
		公営住宅建設	野月に1種簡平6戸、2種簡平17戸建設
43	1968	国土調査実施	
		向山橋永久橋として架替竣工	
		役場庁舎建設工事着手	
		中央公民館、全国優良公民館として文部大臣表彰受賞	
		町議会議員選挙執行	2月3日
		町営砕石事業を特別会計とする	
		十勝沖地震の被害甚大	5月16日
44	1969	田子町食管制度を守る大会開く	
		町立幼稚園を開園	園児86名
		移動役場開く	
		有線放送開局	
		ＵＨＦテレビ局2局開局	田子、西田子局
		大黒森牧道(バスチャーロード) 完成	
		役場庁舎完成・移転	
		三戸高校田子分校グランド完成	6,000㎡　11月8日
45	1970	全国町村会の優良町村表彰受賞	
		町長選挙執行	宇藤　堅太郎氏当選(4月4日)
		タンク車購入	
		公民館に図書巡回車購入	
		八戸地域広域市町村圏事業開始	
		町民プール建設着工	田子中学校わき
		消防屯所建設着工	
		全国へき地教育研究大会開催	清水頭小学校で第9分科会
		道前田山線完成	
		田子神楽全国に発表	第20回民俗芸能大会(11月3日)
		山村地域再開発調査	
		飯豊橋完成	幅員5m、延長52m
46	1971	助役、教育長就任	助役　種市　佐太郎氏1月1日就任、教育長　古田　直一氏1月11日就任
		企画室を新設	4月から企画室に4人の職員が配置
		相米橋完成	4月4日完成
		石亀部落から3千年前の遺跡発見	京都市の平安博物館講師渡辺誠氏外研究生約17名の発掘により発見
		4月20日山林火災発生	火災警報発令中、原地内の山林から出火し、雀ヶ平の住家4棟を含む12棟全焼
		町議会議員選挙やり直し	43年に行われた町議会議員選挙の訴訟について、最高裁の選挙無効の決定により5月30日町議会議員選挙執行
		郡総合体育大会田子を会場に開催	6月13日田子中学校を主会場に開催
		町民プール完成	3月24日完成、7コース25m、プール開き7月11日
		三戸郡社会福祉大会田子町で開催	7月17日中央公民館で開催
		みんなの農家生活移動展開催	8月17日～18日中央公民館(県農山漁家生活近代化センター主催)
		第1回町内朝野球大会開催	8月20日午前5時
		田子町総合開発計画基本構想まとまる	基準年次昭和45年度目標年次昭和

年	西暦	田子町の動き	備　考
		富士産業(株) 青森工場竣工	9月15日　5番目の誘致企業
		第2回にんにくシンポジウム開催	9月16日
		第2回青森県国際交流シンポジウム開催	9月17日
		茂市地区、向山地区土地改良総合整備事業竣工	10月5日
			茂市地区　43.5ha　487,400千円
			向山地区　11.8ha　84,300千円
		瀬川金蔵氏(清水頭国民年金組合)「厚生大臣賞」受賞	10月20日
		天神堂橋完成	12月
		清水頭小学校落成記念式典	11月16日
			校舎　木造2階建　1,749㎡
			屋体　948㎡、事業費456,750千円
2	1990	町立田子幼稚園創立20周年	1月26日
		サンモールたっこ「あおもり活性化大賞特別賞」受賞	3月2日
		町長選挙無投票当選	渡部　剛己氏当選(3期目)
		八戸市民生協との農作業体験交流会	5月20日
		山市幸悦氏「勲六等単光旭日章」を叙勲	
		東京(市ヶ谷)に「田子町東京役場」を開設	
		公民館別館廃館	7月31日
		福田侃氏(飯豊)「法務大臣表彰」受賞	
		タブコプ町民塾で一日東大生	10月26～27日
		柳田光弥氏(雀ヶ平)「国土緑化推進機構理事長賞」受賞	10月14日
		町立田子病院開設30周年記念式典	2月1日
3	1991	(社) 田子町農村振興公社設立	
		大規模林道支線葛巻・田子線起工式	10月31日
		助役就任	12月18日　熊谷　実郎氏就任
4	1992	第35回全国学芸科学コンクール　小学生の部、詩部門大久保奈都美さん(清水頭小4年)「内閣総理大臣賞」受賞	
		財団法人タブコピア設立	3月30日
		役場庁舎内にコンピュータ導入され、住民情報システムスタート	5月1日
		ギルロイ高校コーラス部、3年ぶり2度目の来町	5月22日、31名
		創作体験学習施設「タブコプ創遊村」オープン	7月11日
		ＮＨＫのど自慢大会が田子中学校体育館開催	8月16日
		川三番地さん(遠瀬出身)講談社漫画賞受賞	
		イタリア・モンティチェリ町と姉妹都市の協定に調印する	9月11日
		上郷小学校統合20周年記念式典	12月6日
		全国スターウォッチング(星空観察)で、田子町(和平高原)が星空日本一に輝く	
5	1993	田子中学校急傾斜地を利用した壁画と階段のレリーフ完成	1月
		姉妹都市締結5周年ガーリックセンターオープン	4月18日
		宿泊施設・ロッジカウベルオープン	5月1日
		町立田子病院院長着任	小松修氏(7月1日)
		不順天候による対策本部設置	
		田子町生涯学習センター(中央公民館)が完成	8月5日
		実りのないまま稲の刈り取り作業始まる	10月1日
		第1回にんにく大賞に樺山東大教授と奥崎青銀田子支店長が受賞	10月
6	1994	上郷地域営農集団(上平喜四郎組合長)が農林水産大臣賞受賞	3月14日
		坂本とめさん100歳を迎え、祝い金が贈られる	田子町100歳祝い金条例を制定
		墓地公園造成工事進む(10月分譲開始予定)	256区画
		タブコプ創遊村入場者10万人突破	8月7日
		消防団第9分団員(女性だけの分団員)に辞令交付	
		タブコピアンプラザなど完成	農村環境改善センター
			都市農村交流センター
			みろくの滝親水公園
		田子町ケーブルテレビ開局	10月1日
		田子町ケーブルテレビジョン地域情報化部門で自治大臣賞受賞	11月25日
		「三陸はるか沖地震」に見舞われる	12月28日
7	1995	阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)発生	1月17日
		田子町国民健康保険高齢者保健福祉支援センター(せせらぎの郷)オープン	4月17日
		ギルロイ高校コーラス部来町	27名
		ガーリックセンター「にんにくラーメン」発売	
		四角岳登山道開設	
		清水頭小学校「才能開発実践教育賞」「県健康推進学校優秀賞」「県学校給食優良賞」受賞	
8	1996	町立田子病院院長着任	木村　雅章氏(4月1日)
		中村正義氏技能五輪全国大会優勝	
		南部信直公居城牛尾館跡記念碑設立	
		清水頭小学校創立120周年記念式典・清水頭児童館創立30周年記念式典	
		田子町進学資金協力会創立10周年記念式典	1月18日
		タブコピアンプラザ「第8回あおもり活性化大賞」受賞	2月24日
		田子町自治会連合会設立10年を迎える	2月26日
		議会議員定数18人から16人へ削減(平成11年から)	3月
		第4次田子町総合計画スタート(平成8年度～平成17年度)基本目標「やさしさと活力に満ちたふるさとをめざして」	4月
		佐藤正氏「勲六等瑞宝章」叙勲	4月
9	1997	ガーリックセンター「にんにくワイン」発売	
		田子町農業協同組合有機栽培稲作研究会「田中稔賞」受賞	
		田子中学校創立50周年記念式典	
		町民憲章制定20周年記念式典・生涯学習町民大会	1月25日
		田子小学校新築校舎完成	6月30日
			校舎鉄筋コンクリート2階建 4,052㎡
			食堂　379㎡、体育館　鉄骨1,242㎡
			事業費1,421,400千円
		自治大臣表彰「世界に開かれたまち先進的な地域国際化推進のまち部門」受賞	3月14日
		小野寺康氏(南側)食糧庁長官賞受賞	4月18日
		藤村謙次郎氏(嘉沢)郵政大臣賞受賞	4月21日

年	西暦	田子町の動き	備　考
		向山自治会「自主防火隊」結成	4月3日
		町議会議員選挙執行	4月26日
		中畑長次郎氏「第7回伝統文化ボーラ特賞」受賞	7月10日
		昭和62年度「手づくり郷土賞」にサンモールたっこが認定	7月10日
		第49回青森県相撲選手権大会で三戸郡チーム優勝	8月2日
		第14回三笠宮杯東北地域自転車道路競争大会	8月12日「田子ステージ」開催
		「青森県青年の船」に3名参加	9月8日～21日　中山善仁、田守美子、岩間江利子の3名が参加
		第2回にんにくとべごまつり開催	9月26～27日　世界一のにんにく生産地のアメリカギルロイ市から市長他11名来庁
		第1回田子町河川・道路美化コンクール開催	
		第11回サンケイ商業省においてサンモールたっこ商店街協同組合が「全国商工会連合会会長賞」受賞	
		高校生3名ギルロイ市訪問	12月21日～昭和63年1月4日
63	1988	地域のコミュニティ拠点施設落成	石亀地区研修センター
			木造一部鉄骨平屋建338, 69㎡
			39, 120千円
			矢田部地区コミュニティ消防センター
			木造平屋建243, 46㎡、20, 441千円
			上野地区多目的研修センター
			木造平屋建138, 29㎡、12, 814千円
		第1回田子町文化賞	1月5日　1団体16個人へ
		「ギルロイ市と友好・親善を深める会」発足	3月15日　会長　北村　栄行氏
		矢田部地区「自主防火隊」結成	3月27日
		中畑長次郎氏国の「選定保存技術者」に選ばれる	「漆掻き用具」製作で選定されたもので東北では初めて
		町制施行60周年記念事業オープニングセレモニー「町民憲章制定10周年記念アピール大会」開催	4月10日　昭和3年に町政を施行して本年で60周年を迎える
		「クリーンアップ・田子」大作戦始まる	4月17日　10月まで7回実施
		アメリカ・カリフォルニア州ギルロイ市との姉妹都市締結	4月18日
		故一ノ渡志津子氏「従六位勲五等瑞宝章」を叙勲	5月10日
		故久保玄作氏「従五位勲五等双光旭日章」を叙勲	5月20日
		大黒森に総合案内施設「ウッドハウス大黒森」オープン	6月4日
		町民憲章制定10周年記念植樹	6月10日　サンモール橋下流区域、松3本、山つつじ120本植樹
		第40回三戸郡総合体育大会開催	6月25～26日　田子高校主会場念願の総合優勝
		衣更橋・サンモール橋落成	6月30日
		交通死亡事故ゼロ、1、500日達成	7月7日
		第11回三戸郡身体障害者スポーツ大会開催	7月13日　田子高校グランド
		ギルロイ市親善訪問	7月25日～8月2日
			北村　栄行団長以下34名
		英語指導助手ゲーリー・ジェイムス・クリフォード君来町	8月1日から1年間町教育委員会に勤務
		青森県青年海外派遣事業当町から1名参加	8月24日～9月6日　尾形隆雄氏参加
		田子町冷害対策本部設置	9月14日　5月以降長期にわたる異常低温、日照不足により冷害が懸念される
		県立田子高等学校独立10周年	10月7日
		町政施行60周年記念週間	11月3～8日　記念事業開催テーマ「タブコピアへの新たなる出発」
			3日　北東北民俗芸能大会
			5～7日　第23回　田子町文化祭
			第13回　田子町農業祭
			8日　まちづくりシンポジウム
		町制施行60周年記念式典	11月10日
		ママさんコーラスのつどい	11月13日　当町の女声コーラスグループ「パザパ」他4団体参加
		関口澄太氏「勲五等双光旭日章」を叙勲	11月15日
		フォード消防自動車蘇生入魂式	12月13日
		救農土木事業(農業者等緊急就労対策事業)始まる	12月13日
平成元年	1989	新元号「平成」スタート	1月8日
			大行天皇1月7日崩御
		農業フォーラム(21世紀アグリビジネスを語る)	1月29日
		にんにく加工企業富士産業(株)の立地基本協定調印	2月7日
		第9回少年消防全国大会で七日市地区少年消防クラブが日本防火協会長賞を受賞	2月17日
		田子町健康づくり大会	2月18日～19日
		昭和63年度自治大臣賞「活力あるまちづくり」受賞	3月3日
		田子農協婦人部「都市や地域の食生活イキイキ体験発表会」で農林水産大臣賞受賞	3月15日
		田子町農業協同組合創立40周年記念大会	3月27日
		町制施行60周年記念「タイムカプセル」埋め込み式	3月31日　タイムカプセルの封印が解かれるのは2028年町制施行100周年
		町民憲章10周年記念式典	
		中畑長次郎氏「勲五等瑞宝章」叙勲	5月
		山本武雄氏(民生委員)厚生大臣賞受賞	5月31日
		姉妹都市1周年記念ギルロイ高校コーラスグループ・コンサート・イン・タッコ開催	6月2～5日　コーラス部員等25名来町、一般家庭にホームステイし交流を深めた
		田子川が「ふるさとの川モデル河川」に指定	6月1日
		千葉市からの「ゴミ」搬入について問題となる	6月
		交通死亡事故ゼロ1、863日でストップ	7月5日　白萩平で死亡事故発生
		英語指導助手ローズマリー・ダーカティさん来町	8月から1年間町教育委員会に勤務
		第38回青森県青年大会開催	9月9日～10日　当町を主会場相撲団体優勝

年	西暦	田子町の動き	備　考
		河川プールがオープン	
		町民憲章ふるさと賛歌を広めるために女声コーラスグループ「パザパ」が結成される	11月13日結成　会長　五十嵐　昭子氏
		親子健康登山大会が20回目を迎える	
60	1985	宮野地区研修センター建設	1棟91, 5㎡　事業費9,278千円
		防火水槽設置(関地区)	40㎥級Ⅰ型1基　事業費2, 570千円
		町立田子病院に内科医師着任	宮沢淳一氏(4月1日)
		水亦分校閉校(上郷小・中)	4月1日　本校に統合
		町立田子病院基準看護特1類実施	7月1日
		土地改良総合整備事業茂市地区ほ場整備着工	8月
		第2回東日本和牛能力共進会田子町からも参加	9月20日～22日　宮城県鳴子町(名久井幸子氏1頭、尾形幸子氏1頭、菊地正治氏3頭)
		町立田子病院第1回夜間総合訓練実施(自衛消防訓練)	10月2日
		第8回全日本ホルスタイン共進会田子からも参加	10月9日～13日　岩手県滝沢村(村木進氏1頭)
		町立田子病院院長横内正典先生、第24回全国自治体病院学会総会シンポジウムで講演	10月18日　講演テーマ「進めよう、考えよう、これからの地域医療を」―21世紀の自治体病院と地域医療―
		青森県青年の船に3名参加	10月20日～11月6日　水梨博充・田中公夫・大村好弘の3名が参加
		にんにくシンポジウム開催(全国規模)	10月29～30日
			参加者1,000人
		水亦生活館設置(旧水亦分校改修)	12月
		川代生活館完成	12月　74, 52㎡
			事業費6,300千円
		第17回三八地区青年大会を当町で開催	
		町文化祭が20回目を迎える	
		「奇絵学秀仏特別展」開催	(奇絵学秀、田子町出生)
		読書推進委員会設立	
		三八社会教育・公民館研究大会が当町で開催	
		外国人講師による英会話教室開設	(対象:小学6年生)
		民間団体として「田子町進学資金協力会」設立、町の人材育成を目指す	
		体力づくり優秀組織表彰(体力づくり国民会議議長賞)	
61	1986	第3次総合計画の策定	59年度から進めてきた計画書「タブコピア」として完成
		雀ヶ平地区樹園地農道完成	総延長3, 274m
			事業費288, 000千円
		丹内地区農免農道(田子工区)完成	総延長2, 020m
		60年度産葉たばこ収納売上高11億円を突破	
		町自治会連合会が組織される	2月　会長に川向自治会長　福士秀男氏
		子牛アカバネ病異常発生により畜産農家に被害続出	2～4月　被害推定100頭
		団体営ほ場整備事業完了(七日市地区)	3月40, 3ha 事業費441, 311千円
		観光産品コンクールで「にんにこちゃん」が県商工会議所連合会長賞受賞	3月12日
		町長選挙執行	3月23日　渡部　剛己氏当選(2期目)
		佐藤　勇氏「勲五等双光旭日章」叙勲	4月
		三戸地区消防団連合観閲式開催	4月29日(三戸町、田子町、南部町、名川町4町連合、当町で開催)
		交通事故死亡ゼロ730日達成	5月28日
		新街区整備事業の完了(河川改修によるもの)　6月3日落成式	58年度から着手、買い物広場・コミュニティ広場等も整備、商店が移転、新しい住家が建ち並ぶなど、町の様想を一変した
		田子町・浄法寺町境界記念式典開催(町の面積244,61㎢に増える)	6月17日　旧水亦分校にて、青森県・岩手県両副知事及び両町長により合意書に署名、記念植樹を行う
		町監査委員に熊谷　実氏就任	7月1日
		三戸地区操法大会開催	7月12日(田子小グランドで)
		タブコプ町民塾開設	8月6日　塾長　東京大学助教授　樺山紘一氏　塾頭　南側　佐藤　裕一氏
			第1期生として56名入塾
		温帯低気圧(台風10号崩れ)の豪雨による被害甚大	8月4～5日　被害額130, 000千円
		第1回にんにくとべごまつり	9月4～5日
			第25回青森県畜産共進会
			9月6日　三八婦人部交流会、相米慎二氏と語る会
			9月7日　第1回G&Bカップレディース綱引き大会・田子牛丸焼パーティ
		町民体力測定、交通安全健康マラソン大会	10月10日
		第1回町民地域対抗駅伝大会	11月3日(清水頭チーム優勝)
		「東京田子会」発足(初代会長　中里　雅昭氏)	11月20日
		田子神楽が「第36回全国民俗芸能大会」並びに「第1回国民文化祭」に青森県代表として出演	11月22日(日本青年館)
		田川　馬之助氏「厚生大臣賞」受賞(国保運営委員)	11月7日
		春山　勇吉氏「厚生大臣賞」受賞(民生委員)	11月14日
		田子町農業協同組合「第39回東奥賞」受賞	12月6日
62	1987	助役、収入役就任	2月2日　助役　原　広治氏　収入役　千葉　四郎氏
		向山地区コミュニティ消防センター落成	木造平屋建　86, 93㎡
			事業費9,560千円
		田子町農協夏秋きゅうり生産部会「青森県知事優秀賞」受賞	2月24日
		田子町農協にんにく生産部会「青森県朝日農業賞」受賞	2月26日
		交通死亡事故ゼロ、1、000日達成	2月22日

年	西暦	田子町の動き	備　考
		袖平牧野畜産農業協同組合で青森県朝日農業賞受賞	5月
		企業誘致による(株)阿部繁孝商店、舞手に第3工場進出	57年10月操業開始予定、ブロイラー処理加工場
		水亦分校閉校 20周年(7月17日)	昭和36年4月1日に開校
			卒業生55人
		農業委員無投票当選	7月18日会長に柳田正雄氏
		第29回全国りんご研究大会の視察地に当町のわい化園	中平弘氏(向山)、山市浩氏(千草場)、両わい化園
		台風15号　被害額18億円	8月22日　瞬間最大風速36m
		田子上ノ平地区町営住宅10戸完成	11月
			第2種簡易耐火構造平屋建2棟
			事業費51, 608千円
		企業誘致工場の(株)太子食品田子工場が野々上地区に 12月から操業開始	納豆、山菜加工ほか
		関地区集落センター、野面生活館、明土平生活館、上ノ平集会所完成	12月
57	1982	消防ポンプ車購入	1月　第4分団へ配置
		田子中学校新築校舎完成	3月10日　事業費852,000千円
		新農業構造改善事業細野地区ほ場整備事業着工(58年完成)	6, 4ha　事業費115, 000千円
		集団農区総合整備事業(区画整理)	
		野々上生活館完成	木造平屋建99㎡、事業費7, 340千円
		田子町消防団長就任	3月15日　中村久四郎氏
		町長選挙執行	3月28日　渡部　剛己氏当選
		町立田子病院院長着任	横内　正典氏(10月1日)
		池振地区集落センター完成	10月
		衣更地区集落センター完成	12月　事業費9, 879千円(新農構)
		マイコン教室スタート(公民館)	
		町文化協会発足 10周年を迎える	
		公民館報「けやき」創刊	
		移動公民館車「グリーン号」購入	
		初の田子神楽後継者養成講座開講	
58	1983	農村情報連絡施設(無線施設)整備	3月　事業費82,678千円(新農構)
		清水頭地区総合研修センター建設	1棟143,264㎡、事業費12,478千円
		消防ポンプ自動車購入	第5分団配備　事業費11, 800千円
		消防防災無線施設整備(事業費23, 170千円)	遠隔制御装置1台、屋外拡声受信装置6台、可搬型無線機9台、戸別受信機150台
		干草場生活館建設	木造平屋建79, 49㎡
			事業費7, 656千円
		町立田子病院内科非常勤医師診療開始	高橋昭博氏(1月31日)
		町立田子病院内禁煙実施	3月1日(禁煙コーナー1ヶ所のみ)
		町議会議員選挙執行	4月24日
		大雪により放牧牛退散	5月17日
		田子町誌(上・下巻)刊行	1,000部　事業費8, 500千円
		町立田子病院患者給食の夕食6時配膳開始	7月1日　(県内病院初)
		教育長就任	澤口　豊氏就任(10月3日)
		細野地区集落センター建設	12月　123, 68㎡
			事業費11, 596千円
		農業者トレーニングセンター着工(12月)	59年7月完成　1, 499, 61㎡
			事業費　255, 604千円
		公民館上郷分館に運営協力会発足	
		公民館別館にマイコンセンター「ワープロⅢ」が常設	
		第1回陸奥湾一周駅伝競走大会に参加	参加62町村、町の部で15位
59	1984	細野地区ほ場整備完成	3月　事業費130, 000千円
		白椛地区県営一般農道整備事業に着手	総延長　2, 380m、事業費259, 000千円
		可搬型消防ポンプ購入	第5分団へ配置　事業費1, 000千円
		消防ポンプ自動車購入	第7分団へ配置　事業費8, 500千円
		消防屯所完成(第7分団)(乾燥塔も)	木造平屋建70, 34㎡
			事業費　5, 790千円
		町立田子病院基準看護実施(1類)	3月1日
		田子町消防団長就任	4月1日　川守田毅一氏就任
		町立田子病院で職員勉強会記録「赤ひげ」創刊	4月27日
		地域振興課を新設	7月　振興班と保健班の2班
		農業委員会委員選挙執行	7月15日　第1・第2地区とも無投票当選
		第7回東北地区ホルスタイン共進会田子からも参加	8月10日　山形県天童市　村木進氏所有牛
		町立田子病院長　横内正典先生、第43回日本癌学会で研究発表	10月15日　「発表演題　末期癌患者に対する漢方併用療法について」
		町立田子病院第23回全国自治体病院学会で研究発表	10月20日～21日(7部門全部門)
		長坂地区集落センター完成	11月　木造平屋建110, 96㎡
			事業費　10, 471千円
		雀ヶ平・宮野地区ほ場整備着工(11月)	(第3期山村振興対策事業)61年3月完成
			雀ヶ平地区5, 9ha
			事業費59, 100千円
			宮野地区1, 8ha
			事業費20, 400千円
		町村合併記念式典(30周年)	11月10日　農業者トレーニングセンター落成・公民館開設20周年を兼ねて開催
		川向生活館完成	12月　82, 81㎡
			事業費　8, 394千円
		「新生活運動懇談会」開催	
		「会費制結婚式推進協議会」発足	「会費制模擬結婚式、並びに町民総決起大会」を実施
		町民大運動会が30回目を迎える	

年	西暦	田子町の動き	備考
		町赤十字奉仕団連合婦人会分団の北村幸子さん(上風張)、菊地知代さん(道前)が赤十字奉仕団夕員功労表彰受賞	3月23日
		第17回環境保全型農業推進コンクールで、新田そば生産組合が奨励賞受賞	3月29日
		教育長に就任	4月3日　宇藤　裕夫氏
		ドコノ森で記念植樹祭、大黒森みどりの少年団がナナカマドとシラカバの苗木40本植樹	5月8日
		社団法人青森県畜産協会において、戸田廣孝さん(衣更)が家畜畜産物衛生功労者賞受賞	5月29日
		第64回三戸郡総合体育大会で弓道競技が2連覇、相撲競技は9連覇達成	6月9日～10日
		大韓民国瑞山市と姉妹都市提携締結	6月22日
		原・飯豊地区ほ場整備事業着工	7月　面積　38.6ha
		第42回全国中学校相撲選手権大会青森県予選で田子中相撲部が団体戦初優勝し全国大会へ出場	7月7日
		田子町ナニャドヤラ保存会が、第23回北奥羽ナニャドヤラ大会において5回目の最優秀賞受賞	8月18日
		山本なほさん(极ノ実)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	9月7日
		第51回青森県統計大会で、大村建司さん(関)が青森県統計協会長賞を受賞	10月26日
		第3回世界ジュニア女子相撲選手権(開催地: 香港)の日本代表に、鳥井本聖奈さん(田子中3年)が選ばれ団体戦3位、重量級3位	10月27日
		防災フェスタ2012消防図画コンクールで砂場果実さん(田子保育園5歳)が防災協会々長賞を受賞	11月5日
		澤頭サタさん(長坂)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	11月7日
		沢口富雄元町消防団員が「瑞宝単光賞」叙勲	11月15日
		田子ふるさと大使に任命	11月25日　久保　玄次氏
		故田沼義三元町議会議員が「旭日単光章」叙勲	11月27日
		第12回ふるさと自慢わがまち CM大賞で、アィディア賞受賞	12月1日
		平成24年度ホームヘルパー2級養成講座で修了式が行われ、19名が資格を取得	12月16日
25	2013	第63回青森県中学校スキー競技大会大回転競技で中平賢郷さん(田子中3年)が優勝	1月12日～14日
		第65回青森県高等学校スキー大会で冨樫沙織さん(田子高1年)が初の参加で5位入賞	1月12日～15日
		川下三太郎さん(川代)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	1月16日
		町の福祉バスを更新	2月4日
		福原胃腸科外科医院の福原敬信先生(下本町)がノバルティス地域医療賞受賞	2月14日
		白板広大さん(田子中1年)が第28回県下小・中学校あおもり版画まつりで最高賞の棟方志功賞受賞	3月3日
		田子町消防団が平成24年度消防功労者消防庁長官表彰式で表彰旗を受賞	3月6日
		釜淵与栄秋さん夫妻が、平成24年11月の救命活動により三戸消防署長より感謝状が贈られる	3月13日
		町赤十字奉仕団連合婦人会分団の才川いく子さん(サンモール)、松山いまさん(塚ノ上ミ)が赤十字奉仕団夕員功労表彰受章	3月18日
		町内2つの法人と町の間で協力体制構築を目的として、福祉避難所の指定に関する協定を締結	4月1日
			社会福祉法人吉幸会みろく苑
			医療法人恵仁会慈花苑
		堀勝子さん(南風張)が厚生労働大臣特別賞受賞	4月19日
			民生委員としての長年の功績
		蹴揚清見さん(サンモール)と中畑文利さん(北側)が春の叙勲で旭日双光章受章	4月29日
		三戸消防署田子分署に「熊さん号 PartV」救急車が寄贈される	5月9日
			熊さん株式会社(八戸市)寄贈
		春季県下高等学校弓道大会で、山本詢子さん(田子高3年)が女子個人で優勝し、射道優秀賞も獲得	5月11日～12日
		公益財団法人笹川スポーツ財団主催チャレンジデーに初参加	5月29日
		NPO法人田子を元気にする会(松橋良則会長)が町へ「田子城ジオラマ」贈呈	6月1日
		第64回三戸郡総合体育大会で弓道競技が3連覇、相撲競技は10連覇達成	6月8日～9日
		工藤繁治さん(上ノ平)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	6月20日
		田子町・ギルロイ市姉妹都市提携25周年記念行事として「東京多摩交響楽団コンサート」開催	6月21日
		種子イソさん(種子)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	7月20日
		交通死亡事故ゼロ記録、365日を達成	7月26日
		山市大悟さん(田子中3年)が第24回全国都道府県中学校相撲選手権大会の個人戦軽量級(75キロ未満)で優勝	8月4日
		「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が田子中学校グラウンドを会場に開催され、NHKラジオで全国に生中継	8月17日
			田子町での開催は43年ぶり
		サッポロビールとホップ産地5市町村との包括連携協定を締結	8月19日　ホップ産地5市町村
			岩手県(二戸市・軽米町・岩手町)青森県(三戸町・田子町)
		漫画家川三番地氏(遠瀬・本名 田中敬三)が田子ふるさと大使に就任	8月26日
		故中村清一さんが正六位旭日双光章受章	8月29日
		石井テツさん(原)が青森県の最高齢者となり、みろく苑で記念品贈呈	9月15日
		中山侑久さん(田子保育園5歳)が「まちなか防災広場 inはっち」の消防図画展で防災協会会長賞受賞	9月26日
		第1回グルメマラソンがスポネット田子主催で開催	9月29日
		田子町・ギルロイ市姉妹都市提携25周年記念式典と記念植樹が行われる	10月4日
		田子町総合防災訓練実施(会場・清水頭小学校)	10月20日
		堀合貞子さん(サンモール)が青森県統計協会長賞を受賞	10月25日
		立本實さん(川向)が消防叙勲で瑞宝単光章を受章	11月19日
		田子高校郷土芸能部が第42回デーリー東北賞受賞	12月15日
		県境不法投棄産業廃棄物が完全撤去され、最終車両出発式が行われる	12月19日
			約115万トン撤去

年	西暦	田子町の動き	備考
21	2009	交通死亡事故ゼロ記録、2年間を達成	3月8日
		青比良紫外線処理施設完成	3月10日
		田子町名誉町民の一ノ渡尚道氏が「瑞宝中綬章」叙勲	4月29日
		田子町協働のまちづくり条例制定	6月4日
		田子町長選挙執行	6月21日　松橋　良則氏　当選
		東京田子会がタブコピアンプラザ前に記念植樹	7月20日
		第60回青森県中学校体育大会夏季大会で田子中学校相撲部が団体戦の部2年連続優勝	7月23～24日
		第33回全国高等学校総合文化祭三重大会で田子高校郷土芸能部が優良賞受賞	7月31日～8月2日
		八戸市と定住自立圏形成協定を締結	9月24日
		サンモールバスターミナル待合所開設	10月1日
		第57回統計グラフ全国コンクールで田子小学校2年の山美奏葉さんが文部科学大臣奨励賞受賞	10月23日
		平成21年度青森県統計グラフコンクールで田子小学校2年の北村ひなたさんが青森県知事賞受賞	10月27日
		交通死亡事故ゼロ記録 1000日を達成(H19/3/9～H21/12/2)	12月2日
22	2010	故岩間徳太郎氏元町議会副議長が「従六位、旭日双光章」叙勲	1月19日
		中山善作さん(新田)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	1月25日
		田子町消防団第九分団が地域防災力の向上に寄与したとして平成21年度消防団等地域活動表彰受賞	2月25日
		故藤村義雄氏元町議会議長が「旭日単光章」叙勲	2月27日
		新田地区活性化センター完成	3月30日　木造平屋　234.33㎡
			事業費　37,267千円
		田子町光ファイバネットワーク開設	4月1日
		田子町協働のまちづくり条例施行	4月1日
		坂本マツエさん(道前)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	4月5日
		オリジナル品種「たっこにんにく」の委託研究契約締結	4月16日
		佐藤みわさん(杉本)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	5月11日
		三戸郡総合体育大会でバレーボール競技女子が22年ぶりの優勝、相撲競技団体は7連覇	6月12～13日
		第1回ギルロイ市高校生短期研修で高校生5名が来町	6月24～29日
		第29回青森県小学生相撲大会で田子小学校が団体優勝	7月4日
		故小野寺康氏町議会副議長が「旭日単光章」叙勲	7月24日
		第34回全国高等学校総合文化祭宮崎大会で田子高校郷土芸能部が最優秀賞受賞、聖ウルスラ学院高校3年の立田健人さん(田子中出身)が国際・ボランティアスピーチコンテストの部で最優秀賞受賞	8月3～5日
		第57回全国高等学校珠算競技大会電卓の部で三戸高校3年の工藤由美さん(田子中出身)が団体準優勝、個人でも総合準優勝	8月3日
		元町議会議員の柳田正雄氏(雀ヶ平)が「旭日単光章」叙勲	9月1日
		第7回全日本中学生女子相撲大会で田子中1年の鳥井本聖奈さんが優勝(通算4連覇)	10月3日
		統計調査事務の功績者として原東一郎氏(石亀)が総務大臣表彰、岩間正一郎氏(池振)が農林水産大臣表彰を受賞	10月18日
		国民健康保険関係功績者として原菊次郎氏(石亀)が厚生労働大臣表彰受賞	10月20日
		平成22年度青森県統計グラフコンクールで田子小学校2年の山道一矛さんが青森県知事賞受賞	11月10日
23	2011	故山本親一郎氏元町議会議員が「旭日単光章」叙勲	2月4日
		故佐藤清治氏元町助役が「瑞宝双光章」叙勲	2月15日
		澤口勝町議会議長、蹴揚清見町議会議員が全国町村議会議長会、砂子田康雄町議会副議長が青森県町村議会議長会から自治功労者表彰	2月24日
		矢守勇さん(七日市)が日本赤十字青森県支部田子町分区老人クラブ連合会分団班長として赤十字奉仕団員功労表彰受賞	3月8日
		柩山紫外線処理施設完成	3月10日
		東日本大震災が発生 (午後2時 46分)	3月11日
		岩間いとさん(夏坂)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	3月15日
		田子保育園及び上郷保育園を民間に移管	4月1日
		町職員(保健師2名、一般職1名)を震災保健支援活動のため、宮城県名取市へ派遣	4月10～4月14日
		三八支部三戸地区消防団連合観閲式で、田子町消防団第5分団が小型消防ポンプの部と自動車消防ポンプの部でダブル優勝	4月29日
		町職員(一般職2名)を震災支援活動のため、岩手県宮古市へ派遣	5月22日～5月25日
		町職員(保健師2名、一般職1名)を震災保健支援活動のため、宮城県名取市へ派遣	5月27日～5月29日
			5月29日～5月31日
		第63回三戸郡総合体育大会で弓道競技が優勝、相撲競技は8連覇達成	6月11日～12日
		三戸郡中学校体育大会夏季大会において野球競技、バレーボール競技男子、相撲競技が優勝	6月18日～19日
		第2回ギルロイ市高校生短期研修プログラムで高校生6名が来町	6月22日～6月27日
		交通死亡事故ゼロ記録 500日を達成	7月8日
		東北中学校体育大会第32回東北相撲大会で田子中相撲部が初優勝	8月3日～4日
		平成23年度青森県河川海岸環境美化活動等表彰式で「花の堤をつくる会」(久慈正良会長)が県土整備部長表彰受賞	8月26日
		坂田のぶさん(北側)が100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	9月2日
		塚ノ上ミ地区に障害福祉サービス施設「森の菜園・たっこ」オープン	10月1日
		平成23年度青森県歯科保健表彰式・学校歯科保健優良校中規模校の部で田子小学校が県1位受賞	10月24日
		2011年度県学校保健・学校安全・学校給食関係表彰式で学校給食センターが県学校給食表彰受賞	10月24日
		第32回青森県高校総合文化祭郷土芸能部門で、田子高校郷土芸能部が4年連続最優秀賞受賞	10月30日
		松橋良則町長退任	12月1日
		戸籍の電算化がスタートする	12月12日
24	2012	千葉雅俊消防士長(清水頭出身)が国際消防救助隊員に任命	
		田子町長選挙執行	1月15日　山本　晴美氏　当選
		にんにく焼酎を使用した「どでん米」発売	2月19日
		交通死亡事故ゼロ記録2年間達成	2月23日
		故宇藤堅太郎氏元田子町長に「叙位・従六位」伝達	3月13日

年	西暦	田子町の動き	備考
		青森県県境再生対策室出張所現地事務所開設	9月1日
		清水　克勇氏(風張)「勲六等単光旭日賞」受賞	9月26日
		幅野　すえさん(細野)100歳を迎え、祝い金が贈られる	10月6日
		田子町県境不法投棄原状回復調査協議会を設置	11月4日
		柳エツさん 100歳を迎え、祝い金が贈られる	11月5日
		公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰(団体の部)受賞	11月20日
		宇藤義一氏・一ノ渡尚道氏名誉町民となる	12月11日議決
16	2004	三戸消防署田子分署新庁舎完成(落成式典: 5月23日)	3月30日　鉄骨造2階館
			692.90㎡
			事業費　305,063千円
		八戸地域合併協議会廃止	6月30日
		県立田子高校家庭科クラブ全国大会出場(沖縄)	8月
		県立田子高校1年遠沢和加さん女子やり投げでインターハイ出場(島根県)	8月
		台風15号によりホップに大被害	8月20日
		奥家沙都美さん「第9回松涛杯争奪世界空手道選手権大会」女子個人組手の部優勝	9月
		第12回青森県民駅伝競走大会町の部第9位入賞	9月5日
		石井テツさん 100歳を迎え、敬老祝金が贈られる	9月15日
		佐野房氏(野々上)「青森県褒章」受賞	11月16日
		上郷小学校4年原健将さん全国大会出場(東京「国技館」)	12月4日
		袖平生活館完成	12月21日　木造平屋1棟　131.41㎡
			事業費　17,077千円
17	2005	旧橋本住宅青森県重要文化財指定	3月5日
		第5分団ポンプ車更新	3月6日
		三戸望郷大橋開通(田子・三戸・南部町を結ぶ三戸地区三戸広域営農団地農道)	
		金淵一知氏(七日市)青森県南2人目となる樹木医誕生	
		原巌雄氏(石亀)元田子町議員として「旭日単光章」高齢者叙勲	
		尾形はるさん(種子)100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	4月7日
		山本泰造氏(下田子)「瑞宝双光章」叙勲	4月29日
		第5次田子町総合計画策定スタート	5月20日
		中村隆一田子町長退任	5月31日
		茂市地区に居宅介護支援センター「みろくの郷」とグループホーム「みろくの郷」がオープン	6月2日
		風張地区に「慈花苑・けやき荘」オープン	7月1日
		田子町長選挙執行	7月10日　松橋　良則氏　当選
		田子町農業委員一般選挙	7月17日
		工藤辰雄さん(原)100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	8月15日
		故前町長中村隆一氏(雀ヶ平)「旭日双光章」叙勲	7月12日
		佐野房氏(野々上)「黄綬褒章」叙勲	
		村木満氏(七日市)「旭日双光章」叙勲	
		前教育長特田實氏「青森県褒章」受賞	
		教育長に就任	秋元正孝氏
		田子町消防団第7分団消防ポンプ車更新	12月4日
		第5次田子町総合計画策定	12月15日
18	2006	子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰／田子町立図書館	4月23日
		第5次総合計画の基本目標による田子町協働のまちづくりがスタート	5月24日
		県立田子高校女子弓道部団体優勝・陸上競技部女子やり投げ第1位遠沢和加大会新	5月・6月
		工藤辰雄さん 101歳を迎え、花束と敬老祝金が贈呈される	8月15日
		田沼義三氏(上野)長年の国保運営委員活動の功績により厚生労働大臣表彰	
		田子町農業協同組合が出願した「たっこにんにく」が地域団体商標登録	11月10日
		野々上生活館完成	12月25日　木造平屋1棟 178.5㎡
			事業費　21,948千円
19	2007	故西村金二氏前田子町議会副議長に「従六位、旭日双光章」叙勲	1月13日
		町民憲章制定30周年記念式典・生涯学習町民大会	2月25日
		田子町自治会連合会設立 20周年記念式典	3月14日
		財団法人田子町にんにく国際交流協会から町に2千万円の寄付(総額1億2千万円)	3月31日
		町立田子診療所・介護老人保健施設開所式	4月1日
		田子町地域包括支援センター開設	
		青森県議会議員選挙	4月8日
		田子町議会議員選挙(議員定数 16人から 10人となる)	4月22日
		蛇沼さとさん 100歳を迎え、敬老祝金が贈呈される	8月24日
		福島県立医科大学名誉教授森一氏名誉町民となる	9月14日議決
		教育長に再任	10月3日 秋元　正孝氏
		西村法友氏(西舘野)統計調査事務の功績により総務大臣表彰受賞	10月18日
20	2008	大韓民国・新南海農協と田子町農協と姉妹提携協定締結	3月12日
		田子町総合案内看板(下田子の国道沿い)設置	3月31日
		元田子町議員の千葉一治氏(南部町)に「旭日単光章」叙勲	4月1日
		田子町コミュニティバス・スクールバス(4台)スタート	4月1日
		原菊次郎氏・嶋澤とわ氏・中平愛子氏に長年社会福祉増進活動の貢献により厚生労働大臣特別表彰受賞	
		友好交流の韓国瑞山市の議会一行 16名が来町	4月21日
		田子中学校学校林に杉 1110本・桜 20本植樹	5月11日
		田子町・ギルロイ市姉妹都市締結 20周年記念音楽祭	6月28日
		佐野房氏が長年の農協運動に貢献したとして社団法人農協協会の「農協人文化賞」受賞	
		第59回青森県中学校体育大会夏季大会で田子中学校相撲部が団体戦の部優勝	7月22日～23日
		故田村文作氏元町議会議長に「旭日単光章」叙勲	7月28日
		田子町・ギルロイ市姉妹都市締結 20周年記念式典	9月26日
		前教育長特田實氏(青森市)「瑞宝双光章」叙勲	11月3日
		町制施行 80周年記念式典	11月12日
		県立田子高等学校創立 55周年・独立 30周年記念式典	11月22日

年	西暦	田子町の動き	備考
		北村仁太郎氏(南側)「勲5等瑞宝章」受賞	11月3日
		茂市国民年金納付促進組合社会保険庁長官賞受賞	11月6日
		田子小学校校舎・学校給食センター落成記念式典	11月28日
		畠山隆志氏技能五輪全国大会優勝	11月
10	1998	中野さたさん 100歳を迎え、祝い金が贈られる	2月
		町長選挙執行	3月22日　中村隆一氏当選
		田子家畜市場最終開催	3月25日
		町制施行 70周年記念事業オープンセレモニー	4月3日
		ギルロイ高校コーラス部来町	4月17日
		田子町農業協同組合創立 50周年記念大会	
		県営白椛地区一般農道完成	
		県営安らぎ駐車帯(関地区チェーン脱着場)完成	
		県立田子高等学校創立 45周年・独立 20周年記念式典	
		故　瀬川金蔵氏「勲六等単光旭日章」受賞	8月12日
		清水頭小学校ボランティア功労者厚生大臣表彰受賞	
		川守田毅一氏「勲六等瑞宝章」受賞	11月3日
		町制施行 70周年記念式典	11月10日
		田子町のホームページ開設	11月10日
		姉妹都市締結 10周年記念式典 inギルロイ(町の民俗芸能が海外公演)	11月11～18日
11	1999	町立田子病院院長着任	葛西智徳氏(4月1日)
		種市佐太郎氏(北側)「勲五等瑞宝章」叙勲	4月29日
		田子町連合婦人会 40周年記念式典	6月6日
		助役・収入役就任	6月17日　助役　北村　護氏
			収入役　市橋　孝士氏
		教育長再任	9月　袴田　實氏
		宇藤堅太郎氏(宮野)「勲五等瑞宝章」叙勲	11月3日
		尾形清治氏(清水頭)「勲六等瑞宝章」叙勲	11月3日
		上郷中学校創立 50周年記念式典	11月7日
12	2000	工藤福志氏(矢田郎)「勲六等単光旭日章」叙勲	4月29日
		田子にんにく音頭普及協賛会「田子にんにく音頭」発表会	5月3日
		木村知事三栄科学工業産業廃棄物不法投棄現場視察	7月16日
		交通死亡事故ゼロ1,000日達成	6月26日
		田子朝野球協会文部省社会体育優良団体受賞	
		中畑文利氏(北側)「漆掻き用具製作技術者」文化財功労者に選ばれる	
		連携型中高一貫教育の導入	10月19日
		澤口豊氏(七日市)「勲五等双光旭日章」叙勲	11月3日
		原広治氏(風張)「勲五等瑞宝章」叙勲	11月3日
		清水頭小学校父母と教師の会、優良ＰＴＡ文部大臣表彰	
		釜淵一知氏(七日市)建設大臣賞受賞	12月
13	2001	交通死亡事故ゼロ1,198日でストップ	1月11日　関で死亡事故発生
		清水頭地区ほ場整備事業着手(H12～16)	面積 28.0ha　事業費894,000千円
		(仮)青森県和牛改良資源センター完成	
		天然果汁「ジョミ」発売	2月
		青森県畜産試験場　和牛改良資源センター開所	
		特別養護老人ホーム「みろく苑」オープン	4月20日
		工藤シゲさん(矢田郎)100歳を迎え、祝い金が贈られる	5月25日
		広報「たっこ」が500号発刊	
		田子町消防団第9分団に軽可搬ポンプを配備	8月24日
		第12回東北俳句大会で東北俳句大会賞に佐藤善太郎氏(杉本)が選ばれる	9月26日
		奇峰学秀遺作展開催　没後 262記念	9月29日～10月1日
		第15回全国女性消防操法大会で田子町女性消防団が優秀賞で銅メダルに輝く	10月18日
14	2002	町内のパチンコ屋で強盗事件発生	3月20日
		町長選挙執行	3月24日　中村　隆一氏当選(2期目)
		にんにく専用高温処理施設完成	3月25日　鉄骨平屋　94.71㎡
			事業費 34,743千円
		青森県側の県境産廃不法投棄量が67万立方メートルと公表される	3月2日
		併せて青森県より現地封じ込め処理案が示される	
		田子町森林組合が合併し、三八地方森林組合となる	4月1日
		八戸地域合併検討協議会へ加入する	4月1日
		八戸市・階上町・福地村・南郷村・名川町・南部町・田子町	
		萌芽抑制剤の製造中止により、にんにく農家大打撃を受ける	4月
		台風6号による大雨で随所に被害	
		被害面積　50ha	
		道路　36件　160, 120千円、河川　28件　56, 650円	
		役場職員(事務吏員)1人1台パソコン設置によりオンラインスタート	4月
		大木環境大臣、青森・岩手両県知事等県境不法投棄現地視察	8月
		無登録農薬問題が全国的に広がり青森りんごも大打撃を受ける	8月
		にんにく専用CA冷蔵庫完成	11月29日
			鉄骨一部2階建　1,018.98㎡
			事業費　339,116千円"
		中山間地域総合整備事業着手(H 14～ 18)	事業費　1,797,000千円
		第51回全国青年相撲大会　団体優勝	11月
15	2003	山口生活館完成	2月　木造平屋1棟　127.27㎡
			事業費　15,671千円
		上郷中学校閉校式(3月31日をもって54年間の歩みに幕)	3月15日　校長　斎藤　正榮氏
		中畑文利氏(北側)第31回デーリー東北賞受賞	3月20日
		八戸地域合併協議会スタート	4月1日
		新たに新郷村が加わり、8市町村となる	
		木村知事県境産廃不法投棄について、県の責任を認め謝罪	4月2日
		青森県議会議員選挙	4月13日
		田子町町議会議員選挙	4月27日
		助役・収入役就任	6月18日　助役　築田　尚久氏
			収入役　相木　信弘氏
		三戸消防署田子分署新庁舎建設始まる	6月　H16, 3月竣工予定
		にんにく加工工場落成	7月23日
		宇藤　義一氏第38回一期会展で内閣総理大臣賞受賞	9月
		教育長再任	9月　袴田　實氏

みろくの滝

町の概要

【地名の由来】

「田子」と書いて「たっこ」と読みます。由来については諸説ありますが、この地の先住民であるアイヌ人の言葉で「小高い丘」を意味する「タプコブ」から来ているという説が最も有力です。この他にも田子町には、アイヌ語に起源をもつと思われる地名がいくつか残っています。

【地形と概要】

青森県の最南端に位置し、岩手県と秋田県に隣接しています。田子町は、にんにくの風味品質が日本一という定評があり、「にんにくの町」とも呼ばれています。

「たっこ王子」と名づけられたゆるキャラは、たっこにんにくの PR に一役かっています。そのほかにも肉用牛である「田子牛」の産地としても知られています。日本名水百選にも選ばれた、きれいな水。その水を飲んで育てられた田子牛は、ジューシーかつヘルシーであると評価され、県内だけでなく、県外でも人気の肉牛です。ただ、その飼養頭数が少ないため「幻の牛肉」と称される場合もあります。

田子町は、面積のほとんどが山林です。そのため、人気のピクニックコースがいくつかあります。その中でも、特に人気を集めているのが、田子の森の守護神とも呼ばれている、「みろくの滝」を通るコース。四季折々の風景を楽しめることから、地元の人はもちろん、観光客からも愛されています。

また、その地形や降雪量を活かしたスキー場、「創遊村２２９（にんにく）スキーランド」があり、初心者でも楽しめるゲレンデとして、幅広い年齢層から親しまれています。

TOWN EMBLEM＜町章＞

図案は、故佐藤暢三氏の考案によるものです。図案の発想になったのは、当時運行されていた町営バスの車輪。バスが地域の頼もしい「足」であった当時、その力強く前進する姿に田子町の未来を見出しては、伸びゆく町、ひらけゆく町に向かって限りなく回転を続けて行って欲しいという願望を込めたものです。

SYMBOL BIRD＜キセキレイ＞

全長約20㎝ほどの細身で尾の長い鳥です。水辺、特に渓流に沿って生活するものが多く、田子の中を流れる小さな流れでもよく目にすることのできる野鳥です。セキレイの仲間で、胸から腹にかけて黄色いためキセキレイの名があります。「チチッ　チチッ」と鳴きながら大きな波形をえがいて飛ぶのが特徴です。

SYMBOL TREE＜ナナカマド＞

非常に燃えにくく、７度竈（かまど）に入れても燃えないということからこの名があるようです。高さ７～10ｍになり、秋には鮮やかに紅葉し、赤い実をつけます。田子でも町のあちこちで見ることができるバラ科の落葉小高木。これで作られた炭は火力が強く火持ちも良いので、備長炭の材料として極上品とされています。

SYMBOL FLOWER＜山つつじ＞

日当たりのよい尾根筋や草原などに生育する日本の野生ツツジの代表種。田子では、長い雪の季節を耐え抜いた春に、大黒森の山頂付近に群生するおよそ５万本の山ツツジが鮮やかに咲き誇り、訪れる人たちを感動させます。そしてこの時期、地元ではつつじ祭りを開催し、豊かな自然の恵みを存分に謳歌するのです。

SYMBOL CHARACTOR＜たっこ王子＞

特産品である「たっこにんにく」のますますの普及と発展を願い、そのイメージキャラクターとして一般公募したものです。地域での催事にはもちろん、青森県内外のいろいろなイベント等にも出向き、田子町とにんにくのＰＲに努めています。

田子町勢要覧2014

●発　　行／田子町
〒039-0201 青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平81
TEL.0179-32-3111　FAX.0179-32-4294　http://www.town.takko.aomori.jp
●編　　集／田子町役場総務課
●企画制作／有限会社赤坂コピーライツジム